

〈特集「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」他〉

ムンダ語：

特集補遺データ「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報構造の諸要素」「否定、形容詞と連体修飾複文」

Mundari:

‘Passive Expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’

¹長田 俊樹・²Madhu Purti・³高橋 翼

Toshiki Osada, Madhu Purti and Tsubasa Takahashi

¹ 総合地球環境学研究所

Research Institute for Humanity and Nature

² 独立研究者

Independent Scholar

³ 東京外国語大学大学院総合国際学研究科

Tokyo University of Foreign Studies

要旨：本稿は特集補遺「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報表示の諸要素」「否定、形容詞と連体修飾複文」(『語学研究所論集』第14-23号, 2009-2018, 東京外国語大学)に寄与するものである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Passive expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’ (Journal of the Institute of Language Research 14-23, 2009-2018, Tokyo University of Foreign Studies).

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002000390>

キーワード：受動表現, アスペクト, モダリティ, ヴォイスとその周辺, 所有・存在表現, 他動性, 連用修飾複文, 情報構造と名詞述語文, 情報構造の諸要素, 否定, 形容詞と連体修飾複文

Keywords: passive, aspect, modality, voice, possession, existence, transitivity, complex sentence, adverbial modification, information structure, nominal predicate, negation, adjectives, adnominal modification

0. はじめに

本稿のデータは母語話者である Madhu Purti とこの言語の専門家である長田俊樹が作成した。分析とグロスに関して高橋翼の協力を得た。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

1. 「受動表現」(語学研究所論集 第14号)

受身は動詞が自動詞か、他動詞かで異なる。自動詞は数が少ない。自動詞にも、他動詞にもなる動詞が多い。ただし、*durum*「眠る」*inuy*「遊ぶ」*ay*「夜が明ける」などは目的語をとることはない。

動詞語根を自動詞とみなすか、他動詞とみなすか、決定するのはむずかしいが、ある程度可能である。たとえば、*dub*「すわる」は基本的に自動詞だが、他動詞としてあらわれると、「すわらせる」という使役の意味をもつ。

dub-aka-n-a-e?

座る-COMT-INTR-IND-3SG:SBJ

「彼は座っている」

hon-ko=e? *dub-aka-d-ko-a.*

子供-PL=3SG:SBJ 座る-CONT-TR-3PL:OBJ-IND

「彼は子供たちを座らせている」

一方、*sab*「捕まえる」は基本的に他動詞だが、自動詞用法では、「捕まえられる」という受身の意味をもつ。

pulis-ko kumbuꞑu-kin=ko sab-aka-d-kin-a.

警官-PL 泥棒-DL=3PL:SBJ 捕まえる-CONT-TR-3DL:OBJ-IND

「警官たちは二人の泥棒を捕まえた」

kumbuꞑu-kin sab-aka-n-a-kin.

泥棒-DL 捕まえる-CONT-INTR-IND-3DL:SBJ

「二人の泥棒が捕まえられた」

もっとも極端な例として、*goe?*「殺す」は他動詞だが、自動詞では「殺される」という意味ではなく、「死ぬ」の意味になる。

hon-ko=e? *goe?-ke-d-ko-a.*

子供-PL=3SG:SBJ 殺す-COMPL-TR-3PL:OBJ-IND

「彼は子供たちを殺した」

hon-ko goe?-ja-n-a-ko.

子供-PL 殺す-INGR-INTR-IND-3PL:SBJ

「子供たちは死んでしまった」

他動詞の主語は有生名詞でなければならない。したがって、「ボールがガラスを割った」などは許さない。あえて表現するなら「ガラスがボールによって割れた」とする。以下参照。ボールもガラスもムンダ世界にはないので、例文は異なる。

**maꞑdi hon-ko bisi-ja-d-ko-a.*

food child-PL poison-INGR-TR-3PL:OBJ-IND

「子供達は食べ物があたった」

(INGR=Ingressive¹)

maŋd̪i-te hon-ko=ko bisi-ja-n-a.
food-by child-PL=3PL:SBJ poison-INGR-INTR-IND
「子供達は食べ物に当たった」

受身表現についていえば、動詞語根に *-oʔ* がつくと、受身動詞語幹となるが、この形はたんなる受身形ではなく可能も示す。日本語の「食べられる」にも可能の意味があるので、日本語話者にはめずらしくない。

また、*duɾum-oʔ-ta-n-a-eʔ* 「かれは眠りそうだ」や *kug-oʔ-ta-n-a-eʔ* 「かれは咳をしそうだ」では自分の意志に反して、「眠り」や「咳」をさそう場合で、いわば可能推量をあらわす。この場合、自分の意志をもっておこなう行為ではこの *-oʔ* をとることができない。たとえば、つぎの例を参照。

**cog-oʔ-ta-n-a-eʔ*
kiss-PASS-PROG-INTR-IND-3SG:SBJ
「彼/彼女はキスをしそうです」
**beg-oʔ-ta-n-a-eʔ*
spit-PASS-PROG-INTR-IND-3SG:SBJ
「彼/彼女は唾を吐きそうです」

キスや唾を吐くという行為は自分の意志に反しておこなうことはできないので、うえのような例は許されない。

また、この *-oʔ* がつくと、アスペクト標識のない未来・現在形か、アスペクト標識をとる場合では、*ta-n-a* しか共起しない。うえでみたように、他動詞 *sab* 「捕まえる」の自動詞用法では、「捕まえられる」となって、受身の意味が生じるが、この場合は *-oʔ* は共起しない。

天候や星などは有生名詞だが、これらが動詞となると、人称接辞が必要である。

gama-ja-d-a-eʔ.
rain-INGR-TR-IND-3SG:SBJ
「雨が降る」

ムンダ語に即すと「彼(彼女=神)が雨を降らせる」となる。こうしたものに、*hoya* 「風、風が吹く」、*rimbil* 「雲、雲る」などがある。

1-1 AはBに叩かれた。(直接受身)

これも自然発話では「AはBを叩いた」としかならない。

soma hon dal-ki-ʔ-i-a. (-ke-d-i-a> -ki-ʔ-i-a形態音韻変化)
Soma child hit-COMPL-TR-3PL:OBJ-IND
「ソマは子供を叩いた」

無理に作るとすると、以下になるだろうか。ただし、母語話者である共著者はおかしいと判断した。

¹ もっと一般的な inchoative とするかどうかで悩んだが、基本的に Osada (2008)での用語に従った。

*soma-ate hon dal-o?-ta-n taiken-a.
 Soma-from child hit-PASS-PROG-INTR COP(PAST)-IND
 「ソマから子供は叩かれた」

以下は OK である.

daŋda?-te hon dal-o?-ta-n taiken-a.
 stick-by child hit-PASS-PROG-INTR COP(PAST)-IND
 「子供は棒で叩かれそうだった (棒が飛んで来て、当たりそうだったけど当たらなかった場合をいう)」

1-2 A は B に足を踏まれた。(持ち主の受身, 体の部分)

これも自然発話では「A が B の足を踏んだ」となる.

Soma aŋ-a? kaʃa=e? tega-ki-?-ŋ-a
 Soma 1SG-GEN leg=3SG:SBJ step.on-COMPL-TR-1SG:OBJ-IND

「ソマは私の足を踏んだ」(目的語が足だけなのだが, 人称接辞としては私が標示される)

1-3 A は B に財布を盗まれた。(持ち主の受身, 持ち物)

自然発話では「A が B のお金を盗んだ」となる..

Soma aŋ-a? paisa=e? kumbuʃu-ke-d-a.
 Soma 1SG-GEN money=3SG:SBJ steal-COMPL-TR-IND

「ソマは私のお金を盗んだ」

kumbuʃu は名詞では「泥棒」動詞では「盗む」となる. こうした名詞が動詞となることがムンダ語では一般的. Evans and Osada (2005) を参照せよ.

1-4 昨日の夜, 私は赤ん坊に泣かれた. それでちっとも眠れなかった。(自動詞からの間接受身)

「昨日の夜, 私の赤ん坊が泣いたので, ちっとも寝なかった」

hola nida aŋ-a? hon bese=? ra?-ke-d-a.
 last night 1SG-GEN child very=3SG:SBJ cry-COMPL-TR-IND.
 ena mente ka=ŋ duʃum-daʃi-ja-n-a.
 that reason NEG=1SG sleep-can-INGR-INTR-IND

「昨日の夜, 私の子供がよく泣いた. だから私は眠れなかった」

あるいは以下を用いる.

hola nida aŋ-a? hon-a? ra?-te ka=ŋ duʃum-daʃi-ja-n-a.
 last night 1SG-GEN child-GEN cry-ALL NEG=1SG:SBJ sleep-can-INGR-INTR-IND

「昨日の夜, 私の子供の泣き(声)で, 私は眠れなかった」

1-5 新しいビルが (A によって) 建てられた。(モノ主語受身, 一回的)

自動詞として「ビルがつくってある (意味は「作られている」だが, 他動詞 bai 「作る」の自動詞表現として受け身になる)」とするか, 人を主語に他動詞構文として「ビルを作った」とする.

nawa bildiŋ bai-aka-n-a.
 new building make-CONT-INTR-IND

「新しいビルを作っている」(聞き手は新しいビルが建っていることを知らないが、話し手がそれを教えているという場合)

nawa bildiŋ=ko bai-ke-d-a.
new building=3PL:SBJ make-COMPL-TR-IND

「人々が新しいビルを作った」(話し手も聞き手もビルが建っていることを知らないが、その場所で新しいビルを見つけた場合)

1-6 カナダではフランス語が話されている。(モノ主語受身, 恒常的. 動作主が問題にならない場合)
この場合は動詞が受け身で使われることはない。

muŋɖa jagar ranci-re jagar-e-a.
Munda language Ranchi-LOC speak-EPEN-IND
「ムンダ語はランチャーで話す」

ranci-re muŋɖa-te=ko jagar-e-a.
Ranchi-LOC Munda-by=3PL:SBJ speak-EPEN-IND
「ランチャーではムンダ語で話す」

あえて、-o? を使うならば以下の文なら可能である。

ne du<nu>b-re muŋɖa-te jagar-o?-ta-n-a.
this sit.NMLZ-LOC Munda-by speak-PASS-PROG-INTR-IND
(dub 「座る」の名詞化接中辞 du<nu>b 「会議」)

「この会議ではムンダ語で話される」(この会議はまだ始まっていない時点での発言で、終わったら-o? は使わず, ne du<nu>b-re muŋɖa-te jagar-ke-n-a. 「この会議ではムンダ語で話した」となる)

1-7 財布が(Aに)盗まれた。(モノ主語受身, モノ主語の背後に被影響者が想定される)
これは1-3を自動詞構文とすればよい。

aŋ-a? paisa kumbuŋu-ja-n-a.
1SG-GEN money steal-INGR-INTR-IND
「私のお金が盗まれた」

1-8 壁に絵が掛けられている。(モノ主語受身, 結果状態の叙述)
「壁に絵がかかっている」としかならない。絵は一般的ではないので、写真にする。

paciri-re poŋo haka-aka-n-a.
wall-LOC photo hang-CONT-INTR-IND
「壁に写真がかかっている」

1-9 AはBに／から愛されている。(感情述語の受身, 特に動作主のマーカに注目)

「AはBを愛している」にするか、「AはBから愛を受けている」にするかの両方の表現が可能である。

Soma Sukur=e? dulaŋa-ja-?-i-a.
Soma Sukur=3SG:SBJ love-INGR-TR-3SG:OBJ-IND

「ソマはスクールを愛している」

Soma Sukur-ate dulaṛa nam-oʔ-ta-n-a.
 Soma Sukur-ABL love get-PASS-PROG-INTR-IND
 「ソマはスクールから愛を受けている」

1-10 AはBに／から「...」と言われた。(伝達動詞の受身, 特に動作主のマーカ-に注目)
 「AはBに言った」としか表現できない。「Bに」は Benefactive であらわす。話しを伝える方法については二通りの表現がある。

Soma met-a-p-ta-n-a ci maṇḍi jom-me.
 Soma say-BENEF-1SG:OBJ-PROG-INTR-IND Q food eat-2SG:IMP
 「ソマは私に言っている、『ご飯を食べなさい』と」

Soma maṇḍi jom-me mente=? met-a-p-ta-n-a.
 Soma food eat-2SG:IMP that=SBJ say-BENEF-1SG:OBJ-PROG-INTR-IND
 「ソマは『ご飯を食べなさい』と私に言っている」

1-10-a AさんはBさんに呼ばれて、今Bさんの部屋に行っています。
 「AがBを呼んだので、BはAの部屋に行きました」

Soma Sukur=e? raʔ-ki-ʔ-i-a.
 Soma Sukur=3SG:SBJ call-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND.
 ena-te Sukur ay-a? oṛaʔ-te=? senoʔ-ja-n-a.
 that-by Sukur 3SG-GEN room-to=3SG:SBJ go-INGR-INTR-IND
 「ソマはスクールを呼んだ。そしてスクールは彼の家に行った」

1-10-b BさんがAさんと呼んで、Aさんは今Bさんの部屋に行っています。
 これは1-10-aと同じものです。

2. 「アスペクト」(語学研究所論集 第15号)

動詞の基本構造は以下の通りである。

動詞語幹+アスペクト標識+自動詞標識・他動詞標識+目的語標識+*-a*+主語標識

(動詞語幹=動詞語根+接辞, 自動詞標識=*-n-*, 他動詞標識=*-d-*, 目的語標識と主語標識=人称接辞)

アスペクト標識はつぎの六つである。命令形ではこのアスペクト標識だけで現れるが、ふつう、自動詞標識 *-n-* か、他動詞標識 *-d-* が接続する。

1. *a-* CISlocative
2. *ke-* COMPLetive
3. *le-* ANTerior
4. *ja-* INGRessive
5. *ta-* PROGRessive
6. *aka-* CONTInuous

2-1 ~さん (固有名詞) は/あの人はもう来た.

Soma hiju?-ja-n-a-e?.

Soma come-INGR-INTR-IND-3SG:SBJ

「ソマは来た」

ふつう過去は完了相-ke-であらわすが, hiju? には-ke-が現れない. これは hiju? が *hij/*hej+o? と分析できるからで, 受身接辞-o? が付くと, -ta-以外のアスペクトマーカ-が立たないということと関係がある. *hij/*hej 「来る」はムンダ語には見られないが, 系統関係が非常に近いサンタル語には見られる.

2-2 ~さん (固有名詞) は/あの人はもう来ている.

Soma hiju?-aka-n-a-e?.

Soma come-CONT-INTR-IND-3SG:SBJ

「ソマはすでに来ている」

-aka は atelic を意味し, そのままの状態ではエンドポイントはない.

2-3 ~さん (固有名詞) は/あの人はまだ来ていない.

Soma auri hiju?-a.

Soma not.yet come

「ソマはまだ来ていない」

auri 「まだ~ない」を使うと, アスペクト標識を伴うことはない. また, 主語の人称接辞も表示されない. アスペクト標識を伴う場合はふつうの否定 ka を使う. auri だと「(来ることがわかっているけど) まだ来ていない」を意味し, 下の完了表現だと「(来るかどうか決まっていらないけど) ソマは来ていない」あるいは「(人を探しているときに, ソマは来ているかと聞かれ) ソマは来ていない」と若干異なる.

Somaka=e hiju?-aka-n-a.

Soma NEG=3SG:SBJ come-CONT-INTR-IND

「ソマは来ていません」

2-4 ~さん (固有名詞) は/あの人はまだ来ない.

2-3 と同様, auri を使用.

2-5 ~さん (固有名詞) は/あの人はもう (すぐ) 来る.

Soma hiju?-ta-n-a-e?.

Soma come-PROG-INTR-IND-3SG:SBJ

「ソマは来ているところです」

アスペクト標識-ta は動作にエンドポイントがある, すなわち telic である.

2-6 (あ!) ~さんが来た! [その人が来るのに気づいた場面での発話]

Soma hiju?-ta-n-a-e?

Soma come-PROG-INTR-IND-3SG:SBJ

「ソマは来ている」

Soma hiju?-ja-n-a-e?

Soma come-INGR-INTR-IND-3SG:SBJ

「ソマは来た」

ソマが今来ている途上にある場合、つまり発見した時点でもまだ遠い場所にいれば1番目の文で表現する。ただし、まだ着いていないが目の前に来た時点では2番目の文を使う。もう動かない状態の場合は以下を用いる。

Soma hiju?-aka-n-a-e?

Soma come-CONT-INTR-IND-3SG:SBJ

2-7 昨日~さんが来たよ。

Soma hola=e? hiju?-le-n-a.

Soma yesterday=3SG:SBJ come-ANT-INTR-IND

「昨日、ソマは来た(そして今はいない)」

Soma hola=e? hiju?-aka-n-a.

Soma yesterday=3SG:SBJ come-CONT-INTR-IND-3SG:SBJ

「昨日、ソマは来た(そして今もいる)」

2-8 昨日~さんは来なかったよ。

Soma hola ka=e? hiju?-ja-n-a.

Soma yesterday NEG=3SG:SBJ come-INGR-INTR-IND

「昨日、ソマは来なかった」

2-9 (私は) あのリンゴをもう食べた。

en maŋɖi=ɲ jom-ke-d-a.

that food=1SG:SBJ eat-COMPL-TR-IND

「私はその御飯を食べた(もう食べた)」

2-10 私はあのリンゴをまだ食べていない。 / 私はあのリンゴをまだ食べない。

en maŋɖi auri=ɲ jom-e-a.

that food not yet=1SG:SBJ eat-E-IND

「私はその御飯をまだ食べていない」(これから食べる予定だが、まだ食べていない)

en maŋɖi ka-ɲ jom-aka-d-a.

that food NEG=1SG:SBJ eat-CONT-TR-IND

「私はその類いの御飯を食べたことがない」(今まで食べたことがない類いの) そのご飯を食べたこと

がない)

2-11 あの人は今 (ちょうど) そのリンゴを食べています／食べているところです.

en maŋɖi=ɲ jom-ta-n-a.

that food=1SG:SBJ eat-PROG-INTR-IND

「私はその御飯を食べているところです」

en maŋɖi=ɲ jom-ja-d-a.

that food=1SG:SBJ eat-INGR-TR-IND

「私はそのご飯を食べようとしているところです」

他動詞構文なのに、自動詞標識-nがでてくるが、これは ta-n-a だけに見られる。また、この現在進行形で他動詞標識-dが現れるときは、ta-d ではなく、ja-d という形式が現れる。この二つの違いは、前者は実際に「食べている」のに対し、後者は「食べる準備が出来ていて、食べようとしている」あるいは「食べているかどうかわからない状態だが、食べているようだ」を指す。

2-12 窓が開いている／窓が開いていた.

duar niʔ-aka-n-a.

door open-CONT-INTR-IND

「ドアは開いている」(開けばなしの状態である)

duar niʔ-aka-n-taiken-a. (アスペクト標識に taiken-a が付くと過去になる)

door open-CONT-INTR-COP.PAST-IND

「ドアは開いていた」

2-13 私は毎朝新聞を読む／読んでいます.

ap do janao setaʔ-re puʔukuiʔ halaŋ-te=ɲ senog-a.

1SG TOP always morning-LOC puffball collect-ALL=1SG:SBJ go-IND

「わたしはいつも朝プツクイ (菌類) を集めに行く」

アスペクト標識がないときは習慣的なことを指す。(cf. singi rakab-a-e (sun rise-IND 3SG:SBJ) 「陽は昇る」 singi 「太陽」は有生名詞なので人称接辞が必要.)

ap do janao setaʔ-re puʔukuiʔ halaŋ-te=ɲ senoʔ-ta-n-a.

1SG TOP always morning-LOC puffball collect-LOC=1SG:SBJ go-PROG-INTR-IND

「わたしはいつも朝プツクイ (菌類) を集めに行きます」

こちらは起きたらすぐに行くことをいう.

2-14 あなたは (あなたの) お母さんに似ている.

am do enɡa²-m-leka see-ge lel-og-a.

2SG TOP mother-2SG-like equal-EMPH see-PASS-IND

² 親族名称は人称接辞によってその所有者を表す.

「あなたはあなたの母のように同じように見える」

see-ge は強調辞 ge を伴うのが普通である。lel-o? は「見る+受身」だが可能の意味である。

2-15 私はその頃毎日学校に通っていた。

ap do en samae janao isukul-te=n seno?-ta-n-taiken-a.

1SG TOP that time always school-ALL=1SG:SBJ go-PROG-INTR-COP.PAST-IND

「私はその頃いつも学校に通っていた」

過去の習慣は「進行アスペクト+過去のコピュラ」で示す。

2-16 私は～に（大きな街の名前など）行ったことがある。

ap do ranci-te=n sen-aka-n-a.

1SG TOP Ranchi-ALL=1SG:SBJ go-CONT-INTR-IND

「わたしはラーンチーに行ったことがある」

この場合、継続相-aka を使用する。

2-17 やっとバスは走り出した／走り始めた。

gaŋi do calao-e?e?-ja-n-a.

car TOP drive-begin-INGR-INTR-IND

「車は動き始めた」

2-18 昨日彼女はずっと寝ていた。

hola ae? duŋum-aka-n-ge=? taiken-a.

yesterday 3SG sleep-CONT-INTR-EMPH=3SG:SBJ COP.PAST-IND

「昨日、彼／彼女は寝た状態でした」

ここでも継続相を使用する。

2-19 私はそれをちょっと食べてみた。

ap do en jom-e-a? mod cokoi=n jom-ke-d-a.

1SG TOP that eat-E-GEN one little=1SG:SBJ eat-COMPL-TR-IND

「わたしはその食べ物をちょっと食べた」

動詞に-e-a? が付くと、「～するもの」という意味になる（e.g. ol-e-a? 「書き物」 sab-e-a? 「(取っ手など）つかむもの」）。

ap do en jom-e-a? mod cokoi=n jom-no?-la-?-a.

1SG TOP that eat-E-GEN one little=1SG:SBJ eat-INTENS-ANT-TR-IND

「わたしはその食べ物をちょっと食べた」

jom-no?-la-?-a の no? は単独では使われず必ず動詞を伴って出てくる強調辞で、ムンダ語にはかなりの数見られる。-la-?-a はアスペクト標識+他動詞標識-le-d-が形態音韻変化を起こしたものである。

2-20 あの人はそれ(ら)をみんなに分け与えた.

en hoꞵo en jom-e-a? soben-ko=e hatiŋ-a-d-ko-a.

that person that eat-E-GEN all-PL=3SG:SBJ distribute-CIS³-TR-3PL:OBJ-IND

「その人はその食べ物をみんなに分け与えた」

2-21 さあ, (私たちは) 行くよ!

dola=bu senog-a.

INTERJ=1PL.INCL:SBJ go-IND

「さあ, 行きましょう」

2-22 地球は太陽の周りを回っている.

siŋgi purab-sa?-te=? rakab-a.

sun east-side-ALL=3SG:SBJ rise-IND

「太陽は東の方に昇る」

-sa? は日本語の「方, 側」に当たる.

siŋgi purab-ate=? tur-o?-a.

sun east-ABL=1SG:SBJ rise-PASS-IND

「太陽は東から昇る」

tur は「(太陽が) 昇る」を意味するのに対し, rakab は「上る, 昇る」という動作にたいして一般的に使われる.

2-23 あの木は今にも倒れそうだ.

en daru naa? ge rau?-leka-mena?.

that tree now EMPH fall-like-COP

「その木は今こそ倒れそうな状況にある」

en daru naa? ge rau?-o?-a.

that tree now EMPH fall-PASS-IND

「その木は今こそ倒れそうだ」

2-24 (私は) あやうく転ぶところだった.

ap do baŋi-o?-ta-n-taiken-a.

1SG TOP fell-PASS-PROG-INTR-COP.PAST-IND

「わたしは倒れそうになっていた」

³ -aは例が少なく十分な分析ができていない. Munda(1971)は“‘cislocative’ aspect which implies ‘an action which is completed and suspended for an INdefinite period of time’”(Munda 1971: 29) と説明しており, ここではこれに従う. 2-20のような例では, Dative を標示するときにはこの-a-d-を使用し, 目的語を標示するときには-ke-d-を使う.

2-25 明日客が来るので、パンを買っておく。

gapa kupul-ko hijug-a mente cauli=jn kiriŋ-le-a.
 tomorrow guest-PL come-IND CONJ rice=1SG:SBJ buy-ANT-IND

「明日客たちが来るので、わたしは米を（市場に着いたら）買う」

アスペクト標識-le-が自動詞標識や他動詞標識なしで使われる。この-le-は一つの動作とつぎの動作が関連するときに使われる。

gapa kupul-ko hijug-a enate cauli=jn kiriŋ-ke-a.
 tomorrow guest-PL come-IND because rice=1SG:SBJ buy-COMPL-IND

「明日客たちが来るので、わたしは米を買う」

(お店に知り合いがいて、米を買うときに説明している.)

gapa kupul-ko hijug-a. enate tisiŋ-re ge cauli=jn kiriŋ-ta-a.
 tomorrow guest-PL come-IND because today-LOC EMPH rice=1SG:SBJ buy-PROG-IND

「明日客たちが来るので、わたしは今日米を買う」

前もって準備のために買う場合にはこの進行相-ta-を使用する。

2-26 (私は) ~に (街とか市場とか) 行ったとき、この袋を買った。

an piiŋ=jn sen-ke-n-a.
 1SG bazar=1SG:SBJ go-COMPL-INTR-IND.

imtaŋ Soma-naŋgen ne sono?=jn kiriŋ-ke-d-a.
 that.time Soma-for this cloth=1SG:SBJ buy-COMPL-TR-IND

「わたしは市場に行った。そのときソマのためにこの服を買った」

2-27 (私は) ~に (街とか市場とか) 行く時/行く前に、この袋を買った。

an piiŋ=jn seno?-ta-n-re Soma-naŋgen ne sono?=jn kiriŋ-ke-d-a.
 1SG bazar=1SG:SBJ go-PROG-INTR-LOC Soma-for this cloth=1SG:SBJ buy-COMPL-TR-IND

「わたしは市場に行くとき、ソマのためにこの服を買った」

an piiŋ=jn seno?-sida-re Soma-naŋgen ne sono?=jn kiriŋ-ke-d-a.
 1SG bazar=1SG:SBJ go-before-LOC Soma-for this cloth=1SG:SBJ buy-COMPL-TR-IND

「わたしは市場に行く前に、ソマのためにこの服を買った」

2-28 (私は) 彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。

ae? piiŋ-re ne sono?=e kiriŋ-ke-d-a men-e-a=jn itu-a-n-a.
 3SG bazar-LOC this cloth=3SG:SBJ buy-COMPL-TR-IND say-E-IND=1SG:SBJ know-CIS-INTR-IND

「彼が市場でこの服を買ったのをわたしは知っていた」

3. 「モダリティ」(語学研究所論集 第16号)

3-1 (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ。

【許可】「~してもいい」

nea kami caba-ja-n-re seno?-re-o bai-o?-a.
this work finish-INGR-INTR-LOC go-LOC-too make-PASS-IND
「この仕事が終わったら行ってもいいよ」

-re は一般的に場所を表すが、節につくと条件節を形成し「～したら」の意味を持つ。seno?-re-o はそれに助詞-o「も」がついた形式で、日本語の「行っても」に相当する。bai-o?-a は bai「作る」に受身接辞が付いて「～してもよい」の意味を持つ。

nea kami caba-ke-ate seno?-re-o bai-o?-a.
this work finish-COMPL-ABL go-LOC-too make-PASS-IND
「この仕事を終えてから行ってもいいよ」

-ke-ate は「～してから」、-ate は場所に続けば「(どこどこ)から」となるが、節の最後に来て「から」の意味を持つ。日本語の「から」に対応している。

3-2 (腐っているから、あなたは) それを食べてはいけない／それを食べるな。
【禁止】「～するな」

ena do alo-m jom-a.
that TOP NEG-2SG eat-IND
「それは食べるな」

alo+2 人称で禁止を表す。

3-3 (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない。
【義務】「～しなければならない」

naa? do ale seno?-lagatiŋ⁴-a.
now TOP 1PL.EXCL go-must-IND
「今は私たち(排除)は行かなくてはならない」

3-4 (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ。
【推奨】「～したほうがいい」

gama leka=e⁵ bai-aka-n-a. catom idi-lagatiŋ-a.
rain like==3SG:SUB make-CONT-INTR-IND umbrella take-must-IND
「雨が降りそうだ。傘を持って行ったほうがよい」

3-5 歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。
【評価的義務】「～するべきだ／～するものだ」

⁴ lagatiŋ はムンダ語としては異質で語源が不明である。ヒンディー語 लगना(laganā)との関連が疑われる。

⁵ gama は有生 animate とみなすため、3 人称単数の人称接語が必要である。

haɾam⁶-ja-n-re hon-ko-a? jagar ayam-lagatiŋ-a.
get.old-INGR-INTR-LOC child-PL-GEN word listen-must-IND
「年を取ったら、子供たちの話を聞くべきだ」

3-6 お腹が空いたので、(私は)何か食べたい。

【希望】「～したい」

reŋgeʔ-ja-ʔ-ŋ-a. enate jaana-ge jom mone-ja-ʔ-ŋ-a.
hungry-INGR-TR-1SG.OBJ-IND so anything-EMPH eat want-INGR-TR-1SG.OBJ-IND
「わたしはお腹がすいた。だから何か食べたい」

mone-ja-ʔ-ŋ-a は典型的な経験者目的語構文である。ムンダ語には、身体や精神的な経験、感情的な経験、生理的な経験などをあらわす経験動詞において、経験者が動詞の目的語のスロットに現れる構文があり、これを経験者目的語構文と呼ぶ。経験者目的語をとる動詞については、長田・Purti (2022: 83-84) にあげておいた。また、Osada (1999) を参照のこと。なお、南アジア諸言語においては、こうした経験動詞では与格主語をとることが多い。

3-7 私が持ちましょう。

【意志】「(私が) ～しよう」

aŋ ge sab-e-a.
1SG EMPH catch-E-IND
「私が持ちます」

aŋ ge sab-a-m-a.
1SG EMPH catch-BEN-2SG.OBJ-IND
「私があなたのために持ちます」

3-8 じゃあ、一緒に昼ご飯を食べましょう。

【勧誘】「(私たちが) ～しよう」

tobe misa-te tikin maŋɕi=bu jom-a.
then together-INSTR noon meal=1PL.SBJ eat-IND
「じゃあ、私達一緒に昼ご飯を食べましょう」

3-9 一緒に昼ご飯を食べませんか？

【相手の意向が不明な場合の勧誘】「～しませんか」

misa-te tikin maŋɕi=bu jom-a ci.
together-INSTR noon meal=1PL.SBJ eat-IND Q
「私達一緒にお昼ご飯を食べますか」

*misa-te tikin maŋɕi ka-bu jom-a ci.
together-INSTR noon meal NEG-1PL.SBJ eat-IND Q

⁶ haɾam は「老人(男)」を指すが、それが動詞として使われ、「年をとる」を意味する。ムンダ語の動詞と名詞の区別については Evans and Osada (2005) を参照。

「私達一緒にお昼ご飯を食べませんか」（「一緒に」 *misa-te* と否定 *kabu* は共起しない）

3-10 明日, 良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。

【希望】「～といいなあ／～してほしいなあ」

gapa jete-ja-n-re do bes-ge-a.
tomorrow sunny-INGR-INTR-LOC TOP good-EMPH-IND
「明日陽が当たるといい」

「良い天気」は *jete* 「陽が当たる。日が照る。日が照って暑い」を使う。

gapa jete-re do honaŋ bes-ge-a.
tomorrow sunny-LOC TOP CONDI good-EMPH-IND
「明日陽が当たるといいのだが」

honaŋ がつくると, 不確実な要素が高いことを示す。反実仮想のときもこれを使う。

3-11 (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。

【命令】「～しろ」

ju, an do ne-taʔ-re tangi-m-a. sekeŋa ina agu-i-me.
INTERJ 1SG TOP this-place-LOC wait-2SG.OBJ-IND quick that bring-E-2SG.IMP
「行け！私はこの付近であなたを待ちます。すぐにそれを持ってきなさい。」

3-12 そのペンをちょっと貸していただけませんか？

【懇願】「～していただけませんか？」

hō ena pen mocokoe om-li-ʔ-me.
INTERJ that pen little.while give-ANT-TR-2SG.IMP
「おい, そのペンを少し私に貸してくれ」

3-13 あの人は中国語が読めます。／あの人は中国語を読むことができます。

【能力可能】「～できる」

en hoŋo cini paŋao-daŋi-a.
that person Chinese read-can-IND
「その人は中国語を読むことが出来る」

3-14 明かりが暗くて, ここに何が書いてあるのか, 読めない。

【状況可能】「～できる」

marsal maja banoʔ-raʔ-te cana ol-aka-n-a.
light well COP.NEG-GEN-ABL what write-CONT-INTR-IND
ka-n paŋao-daŋi-a.
NEG-1SG.SBJ read-can-IND

「光がよくないので, 何て書いてあるか, わたしは読むことが出来ない」

3-15 (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない。

【確信】「～はずだ」

seta? idaŋ-re=ko uruŋ-ja-n-a.
 morning early.morning-LOC=3PL.SBJ go.out-INGR-INTR-IND
 naa?-lo? do=ko teba?-ke-d-a jaa?-to?
 now-COM TOP=3PL.SBJ arrive-COMP-TR-IND probably-DM

「彼らは朝早くに出て行った。今では彼らは恐らく着いたんじゃないの」

jaa? は「おそらく、たぶん」を意味し、文末につけると不確かだが推測できることをさす。to? はやはり文末につけ、日本語の終助詞「な. ね. の. 」に近く、口癖的に使う場合も多い。

3-16 (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。

【推量】「～だろう」

gapa do ka-e hijug-a jaa?
 tomorrow TOP NEG-3SG.SBJ come-IND probably

「明日は彼(女)はたぶん来ないだろう」

3-17 彼らはまだ来ないなんて、きっと途中で車が壊れたんじゃないか。

【疑念】「～のではないか」

naa? jaked auri=ko tabe?-a.
 now until not.yet=3PL.SBJ arrive-IND
 hora-re jaa? gaŋi bagtao-ja-n-a.
 way-LOC probably car break.down-INGR-INTR-IND

「彼らは今まで着いていない。途中で車が恐らく壊れたんじゃないか」

jaa? は文末につけることも可能である。長田の感覚ではむしろ文末の方が一般的だが、母語話者の共著者はこのように文を作った。

nimtam-lo? do inku teba?-e-tera
 this.time-COM TOP that.ANI.PL arrive-E-CONDI
 honaŋ hora-re jaa? gaŋi bagtao-ja-n-a.
 CONDI way-LOC probably car break down-INGR-INTR-IND

「この時間には彼らは着いているはずなのに、途中で車が恐らく壊れたんじゃないか」

tera は honaŋ とともに現れることが多く、反実仮想のときに用いられる。

3-18 (昼間だからあの人は家に) さあ、いるかもしれないし、いないかもしれない。

【可能性】「～かもしれない」

en hoŋo oŋa?-re mena?-i-a ci baŋgai?-a.
 that person house-LOC COP-3SG.SBJ or NEG.COP.ANI.SG-IND
 ka-ŋ itu-a-n-a.
 NEG-1SG.SBJ know-CIS-INTR-IND

「その人は家にいるのか、いないのか。私はわからない」

3-19 (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ.

【視覚／聴覚以外の感覚による判断】「～ようだ」

am do hoɔomo-re lolo menaʔ. rua-ta-n-a-m jaaʔ.
 2SG TOP body-LOC heat COP.INA sick-PROG-INTR-IND-2SG.SBJ probably
 「あなたは身体に熱がある。病気なのかもしれない」

3-20 (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ.

【伝聞】「～そうだ」

gapa do jaaʔ=e gama-i-a.
 tomorrow TOP probably=3SG.SBJ rain-E-IND
 「明日は恐らく雨が降るだろう」

3-21 もしお金があつたら, あの車を買うんだけれどなあ.

【反実仮想】「～だったら～するのだが」

paisa menaʔ-re do honaŋ en gaŋi=ŋ kirin-tera.
 money COP.INA-LOC TOP CONDI that car=1SG.SBJ buy-CONDI
 「もしお金があればその車を買うのだが」

3-22 もしあなたが教えてくれていなかったら, 私はそこにたどり着けなかったでしょう.

【反実仮想過去】「～だったら～したことだろう」

am ge ka-m udub-a-ŋ-re do
 2SG EMPH NEG-2SG.SBJ tell-CIS-1SG.OBJ-LOC TOP
 honaŋ en-taʔ ka-ŋ tebaʔ-tera.
 CONDI that-place NEG-1SG.SBJ arrive-CONDI

「あなたが私に教えなければ, その場所に私はたどり着かないだろう」

この構文ではアスペクト標識が使われない。したがって, 与えられたような「もしあなたが教えてく
 れていなかったら, 私はそこにたどり着けなかったでしょう」の反実仮想過去は, honaŋtera 構文では
 表せない。「あなたが教えてくれたから, 私はそこにたどり着けた」と表現しかできない。

3-23 (あの人は) 街へ行きたがっている.

【3人称の主体による希望】「～したがつている」

en hoɔo saar senoʔ-mone-ja-ʔ-i-a.
 that person city go-want-INGR-TR-3SG.OBJ-IND
 「その人は街へ行きたがっている」(経験者目的語構文)

3-24 僕にもそれを少し飲ませろ.

【1人称命令】「(私に) ~させろ」

aŋ-o huŋiŋ-huŋiŋ nuu-rika-ŋ-me.
 1SG-too little-little drink-cause-1SG.OBJ-2SG.IMP
 「私も少しだけ飲ませろ」

3-25 これはあの人に持って行かせろ／持って行かせよう。

【3人称命令】「(彼に) ~させろ」

nea en hoꞵo ge idi-rika-e-me.

this that person EMPH bring-cause-E-2SG.IMP

「これはその人に持って行かせろ (聞き手に向かって命令)」

nea en hoꞵo-ko ge idi-rika-ko-ka-e.

this that person-PL EMPH bring-cause-3PL.OBJ-OPT-3SG.SBJ

「これはその人たちに持って行かせたらいいのに」 (願望法)

3-26 そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい。

【遠未来命令形】「(あとで) ~しろ」

en paciri cetan-re mena? miṭai tayom-te jom-e-me.

that wall above-LOC COP sweet after-ALL eat-E-2SG

「その壁の上にあるお菓子をあとで食べなさい」

3-27 もっと早く来ればよかった。

【反実仮想】「~だったら~するのだが」

sekeꞵa honaꞵ hijuꞵ-ja-n-re bes-ge-a.

quick CONDI come-INGR-INTR-LOC good-EMPH-IND

「もっと早く来ればよかったのに」

3-28 あなたも一緒に行ったら (どうですか) ?

【脱従属化】「~したら (どうか)」

am-o mosa-te senoꞵ-redo cilika.

2SG-too together-INSTR go-CONDI how

「あなたも一緒に行ったらどうですか」

3-29 オレがそんなこと知るか!

【(疑問詞を含まない) 反語】「~か!」

aꞵ leka-n hoꞵo ci ena-koꞵn itu-a-n-a.

1SG like-GEN person Q that-PL=1SG:SUB know-CIS-INTR-IND

「わたしのような人がそんなことを知っているか」 (反語)

3-30 これを作った (料理した) のは, お母さんだよね? / いいえ, 私が作ったのよ.

【付加疑問】「~よね!?!」

nea do enḡa-m bai-la? cika? ka aꞵ ge bai-la?.

this TOP mother-2SG make-ANT.TR or.not NEG 1SG EMPH make-ANT.TR

「これはおまえの母が作った. いいえ, わたしが作ったの」

4. 「ヴォイス」(語学研究所論集 第17号)

4-1-a (風などで) ドアが開いた. 【自動詞と他動詞の対立】

【自動詞による表現】

duar ni?-ja-n-a.

door open-INGR-TR-IND

「ドアが開いた」

4-1-b (彼が) ドアを開けた. 【自動詞と他動詞の対立】

【他動詞による表現】

Soma duar=e ni?-ke-d-a.

Soma door=3SG.SBJ open-COMPL-TR-IND

「ソマはドアを開けた」

4-1-c (入り口の) ドアが開けられた. 【自動詞と他動詞の対立】

【他動詞の受け身】

ムンダ語では、主語が無生名詞の他動詞構文を許さないのので、こうした受身表現はない。受け身の接辞-o? をつけると、「まだドアは開いていないが、開きつつある」の意味になる。

duar nig-o?-ta-n-a.

door open-PASS-PROG-INTR-IND

「ドアが開いた」

4-1-d ドアが壊れた. 【自動詞と他動詞の対立】

duar bagarao-ja-n-a.

door break-INGR-INTR-IND

「ドアが壊れた」

4-2 私は(自分の) 弟を立たせた. 【自動詞からの使役, 他動詞からの使役】

【自動詞の使役】

aŋ boko-ŋ koʔa=ŋ tingu-(rika)-ki-?-i-a.

1SG younger-1SG boy=1SG.SBJ stand up-(cause)-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟を立たせた」

本来, rika(使役) を使わなくてもいい筈だが、最近を使う傾向にある。親族名称で、自分の世代よりも下のものには boko「弟・妹」のように男女の区別がない。また、人称接辞が後ろに付き、男女の区別として koʔa「男」 kuʔi「女」をつける。

4-3 私は(自分の) 弟に歌を歌わせた. 【自動詞からの使役, 他動詞からの使役】

【他動詞の使役】

aŋ boko-ŋ koʔa=ŋ duʔaŋ-rika-ki-?-i-a.

1SG younger-1SG boy=1SG.SBJ song-cause.to-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟に歌を歌わせた。」(この場合は rika が必要)

4-4-a (遊びたがっている子供に無理やり) 母は子供をパンを買いに行かせた。 【強制使役と許可使役】

engga-n cauli kirin-rika-nangen hon-ko (dukan-te)=? seno?-rika-ke-d-ko-a.
mother-1SG rice buy-cause.to-for child-PL shop-to=3SG.SBJ go-cause-COMPL-TR-3PL.OBJ-IND

「私のお母さんは米を買わせるために、子供たちを店に行かせた」

dukan-te 「店に」は省いても意味は同じである。rika を使うと、強制使役的である。強制使役を強調するときは mo'ai-te 「無理やり」を動詞の前におく。意味的には以下も OK とされる。

engga-n cauli kirin-nangen hon-ko (dukan-te)=? kul-ke-d-ko-a.
mother-1SG rice buy-for child-PL shop-to=3SG.SBJ send-COMPL-TR-3PL.OBJ-IND

「私のお母さんは米を買うため、子供たちを店に送った」

上の文と比べると、rika がいない分、強制的でない。

4-4-b (遊びに行きたがっているのを見て) 母は子供に遊びに行かせた。 【強制使役と許可使役】
【許可使役】

engga-n hon-ko inun-te=? kul-ke-d-ko-a.
mother-1SG child-PL play-INSTR=3SG.SBJ send-COMPL-TR-3PL.OBJ-IND

「私のお母さんは子供たちを遊ぶために送った」

上の文と比べると、rika がいない分、強制的でない。

4-5-a 私は弟に服を着せた。 【他動詞による表現と使役の違い、直接の行為か間接の行為か】
【他動詞による表現】

an boko-n koʔa lijaʔ=n tusin-ki-ʔ-i-a.
1SG younger-1SG boy clothes=1SG.SBJ wear-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟に服を着せた」

動詞の目的語スロットに与格である「弟に」の人称が標示されていて、この構文では直接、私が弟の服を着せたことを含意する。一方、rika を使うと、弟が自分で着ることを私が命令したことを意味する。

an boko-n koʔa lijaʔ=n tusin-rika-ki-ʔ-i-a.
1SG younger-1SG boy clothes=1SG.SBJ wear-cause-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟に服を着させた」

日本語のこの文も弟が着るように命令した場合でも、私が弟に服を着させた場合でも使えるが、ムンダ語では区別がある。

4-5-b 私は弟にその服を着させた。 【他動詞による表現と使役の違い、直接の行為か間接の行為か】
【自動詞の使役】

an boko-n koʔa lijaʔ=n tusin-rika-ki-ʔ-i-a.
1SG younger-1SG boy cloths=1SG.SBJ wear-cause-COMPL-TR-3SG.SBJ-IND

「私は私の弟にその服を着させた」

4-6 私は弟にその本をあげた。 【(物の) 授受動詞は恩恵の授受においても助動詞的に使えるか】
【やりもらい、(話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

やりもらいが一番難しい。つまり、アスペクトの現れ方によって、意味が変わる。

ap boko-n koʔa en kitab=eŋ om-a-ʔ-i-a.
1SG younger-1SG boy that book=1SG.SBJ give-CIS-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟にその本をあげた」

-a-というアスペクト標識が現れる文がかなり限定的で、この三項動詞のときに出てくる。

ap boko-n koʔa en kitab=eŋ om-ke-d-a.
1SG younger-1SG boy that book=1SG.SBJ give-COMPL-TR-IND

「私は私の弟にその本をあげた」

私はこの本をあげる気がないけれど、うるさく言われるので仕方なくあげることを意味するが、このようなシチュエーションがあんまりないので、おかしく聞こえる。

ap boko-n koʔa en kitab=eŋ om-ki-ʔ-i-a.
1SG younger-1SG boy that book=1SG.SBJ give-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟にその本をあげた」

上の文との違いは上の場合は「私はこの本が必要ないのであげた」ことを意味し、下の場合は「弟がこの本を必要としているのであげた」ことを意味する。

ap boko-n koʔa en kitab=eŋ om-aka-ʔ-i-a.
1SG younger-1SG boy that book=1SG.SBJ give-CONT-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟にその本をあげた」

この文では「私はこの本を必要としていて一時的に弟にあげた」ことを意味する。

動詞に受益者動詞語幹があり、その構文は以下のようなになる。

ap boko-n koʔa en kitab=eŋ om-a-i-ta-n-a.
1SG younger-1SG boy that book=1SG.SBJ give-BEN-3SG-PROG-INTR-IND

「私は私の弟にその本をあげるところです。」

この受益者構文ではアスペクト標識 ta しかあらわれない。過去のコンピュータ taiken をつけると文全体が過去になるが、意味が異なる。

ap boko-n koʔa en kitab=eŋ om-a-i-ta-n-taiken-a.
1SG younger-1SG boy that book=1SG.SBJ give-BENEF-3SG-PROG-COP-INTR-IND

「私は私の弟にその本をあげようとした（が実際にはあげなかった）」

4-7-a 私は弟に本を読んであげた。 【(物の) 授受動詞は恩恵の授受においても助動詞的に使えるか】

【やりもらい、(話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

ap boko-n koʔa kitab=eŋ paʔao-ki-ʔ-i-a.
1SG younger-1SG boy book=1SG.SBJ read-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「私は私の弟に本を読んであげた」

これも 4-5-a と同様、与格である「私の弟」が動詞に標示されている。

4-7-b 兄は私に本を読んでくれた。 【(物の) 授受動詞は恩恵の授受においても助動詞的に使えるか】

【やりもらい, (話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

dada-n aŋ kitab=e paŋao-ki-?-n-a.

brother-my 1SG book=3SG.SBJ read-COMPL-TR-1SG.OBJ-IND

「兄は私に本を読んでくれた」

これも与格である「私に」が動詞の目的語スロットに標示される。

4-7-c 私は母に髪を切ってもらった。 【テモラウ】

engga-n aŋ-a? ub=e laŋab-ki-?-n-a.

mother-1SG 1SG-GEN hair=3SG.SBJ cut-COMPL-TR-1SG.OBJ-IND

「母が私の髪を切った」

この文では「私の」が動詞の目的語スロットに標示されている。ムンダ語に近いサンタル語では、こうした possessor marking がみられるが、その名残だろうか。

4-8-a 私は(自分の)体を洗った。 【再帰】

aŋ aŋ-a? hoŋom=eŋ capi-n-ja-n-a.

1SG 1SG-GEN body=1SG.SBJ wash-REFL-INGR-INTR-IND

「私は私の身体を自分で洗った」

4-8-b 私は手を洗った。 【再帰】

aŋ tii=eŋ abuŋ-en-ja-n-a.

1SG hand=1SG.SBJ wash hand-REFL-INGR-INTR-IND

「私は手を自分で洗った」

4-8-c 彼は手を洗った。 【再帰】

ae? tii=? abuŋ-en-ja-n-a.

3SG hand=3SG.SBJ wash hand-REFL-INGR-INTR-IND

「彼は手を自分で洗った」

4-9 (自分のために)私はその本を買った。 【自利態】

aŋ-nangen en kitab=eŋ kiriŋ-ja-n-a.

1SG-for that book=1SG.SBJ buy-INGR-INTR-IND

「私は私のためにその本を買った」

ここでは再帰動詞が使われていない。再帰動詞を使用した文例を以下にあげる。

ay-a? oŋa?-re kamiŋi-n-a mente=eŋ akiriŋ-en-ja-n-a.

3SG-GEN house-LOC helper-REFL-IND because=1SG.SBJ sell-REFL-INGR-INTR-IND

「彼の家で自ら家政婦になるために、私は自分を(自分のために)身売した。」

4-10 彼らは(／その人たちは)(互いに)殴り合っていた。 【相互】

ムンダ語では、相互動詞形は接中辞-pV- (Vはその前の母音がかかる)で標示する。その後続く Aspect Marker によって意味が異なる。以下にその違いを示しておく。なお、ムンダ語の相互構文については

Osada (2007) を参照. この本の編者ネジャルコフによると, 接中辞を使う相互構文は世界的にも珍しいという.

in-ku da<pa>l-ke-n-a-ko.
that-PL hit.RECP-COMPL-INTR-IND-3PL.SBJ
(殴り合った人たちはもうこの世にいない)

in-ku da<pa>l-aka-n-a-ko.
that-PL hit.RECP-CONT-INTR-IND-3PL.SBJ
(殴り合ったあと, お互いに怪我をしている状態)

in-ku da<pa>l-ja-n-a-ko.
that-PL hit.RECP-INGR-INTR-IND-3PL.SBJ
(つい最近, 殴り合った)

in-ku da<pa>l-ta-n-a-ko.
that-PL hit.RECP-PROG-INTR-IND-3PL.SBJ
(今も殴り合っている)

in-ku da<pa>l-ta-n=ko taiken-a.
that-PL hit.RECP-COMPL-INTR-IND=3PL.SBJ COP.PAST-IND
(今は仲がよい)

4-11 その人たちは (みんな一緒に) 街へ行った. 【衆動】
in-ku soben-ko misa-te ranci-te=ko senoʔ-ja-n-a.
that-PL all-PL one-INST Ranchi-ALL=3PL.SBJ go-INGR-INTR-IND

4-12 その映画は泣ける (その映画を見ると泣いてしまう). 【自発】
en sinema lel-redo raʔ-ge uʔuʔ-oʔ-a.
that cinema watch-CONDI cry-EMPH come out-PASS-IND

4-13-a 私は卵を割った. 【意志／無意志】
aŋ jalom=eŋ rapud-ke-d-a.
1SG egg=1SG.SBJ break-COMPL-TR-IND
(意志／無意志両方)

4-13-b (うっかり落として) 私はコップを割った／割ってしまった. 【意志／無意志】
aŋ caʔu=eŋ rapud-ke-d-a.
1SG jar=1SG.SBJ break-COMPL-TR-IND
(無意志)

aŋ caʔu=eŋ koʔeʔ-rapud-ke-d-a.
1SG jar=1SG.SBJ hit-break-COMPL-TR-IND

(意志. 何の道具を使って割ったかが必要. ハンマーでたたき割ったの意味)

4-14-a きのお私はコーヒーを飲みすぎて (飲みすぎたので) 眠れなかった. 【随意の不可能と不随意の不可能】

hola cungi sib-ke-ate duɾum ka hijuʔ-ta-n-taiken-a.
yesterday tobacco smoke-COMPL-ABL sleep NEG come-PROG-INTR-COP.PAST-IND
「昨日, 煙草を吸ったから眠れなかった」

4-14-b きのお私は仕事がたくさんあって (たくさんあったので) 眠れなかった. 【随意の不可能と不随意の不可能】

hola bese kami taiken-ci ena uɾuʔ-te duɾum ka hijuʔ-ta-n-taiken-a.
yesterday very work COP.PAST-Q that think-INS sleep NEG come-PROG-INTR-COP.PST
「昨日, 仕事がたくさんあって, それを考えて眠れなかった」

4-15 私は頭が痛い. 【全体と部分・主体・一時的】

booʔ hasu-ja-ʔ-p-a.
head ache-INGR-TR-1SG.OBJ-IND
「私は頭が痛い」(経験者目的語構文)

4-16 彼女は髪が長い. 【全体と部分・主体・恒常的】

次の二つの例文が考えられるが, ムンダ語としては上の方が一般的で, 下の場合は誰かと比較していることを含意する.

iniʔ-aʔ ub jiliŋ-ge-a.
3SG-GEN hair long-EMPH
「彼女の髪が長い」

iniʔ do ub jiliŋ-ge-a.
3SG TOP hair long-EMPH-IND
「彼女は髪が長い」

4-17-a 彼は (別の) 彼の肩をたたいた. 【全体と部分・対象・接触/結果状態が継続的】

en hoɾo iniʔ-aʔ taran-re=? cauʔ-cauʔ-ki-ʔ-i-a.
that person 3SG-GEN shoulder-LOC=3SG.SBJ EXP-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND
「その人は彼の肩をツンツンと突いた」

(cauʔ-cauʔ は Expressive(=EXP)で擬音語擬態語にあたり, 「ツンツンと突く」を意味する. なお, Expressive については長田・バデノック編 (2019) を参照)

en hoɾo iniʔ-aʔ booʔ-re=? tabiʔi-tabiʔi-ki-ʔ-i-a.
that person 3SG-GEN head-LOC=3SG.SBJ tap-tap-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND
「その人は彼の頭を何度も軽く叩いた」

「肩を叩く」行為がよくやったという場合, ムンダ人は頭を軽く叩く. tabiʔi-tabiʔi は動詞重複で, 繰り返しの行為を示す.

4-17-b 彼は(別の)彼の腕をつかんだ。【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

en hoɽo iniʔ-aʔ supu-re=ʔ sab-ki-ʔ-i-a.
that person 3SG-GEN arm-LOC=3SG.SBJ grab-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND
二の腕は supu で, 腕は tii である。

4-18-a 私は彼がやって来るのを見た。【知覚構文】

en hoɽo hijuʔ-ta-n=ɛn lel-ki-ʔ-i-a.
that person come-PROG-INTR=1SG.SBJ see-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND
「その人がやってくるのを, 私は見た」

en hoɽo hijuʔ-ta-n=ɛn lel-li-ʔ-i-a.
that person come-PROG-INTR=1SG.SBJ see-ANT-TR-3SG.OBJ-IND
「その人がやってくるのを, 私は見た(しかし今はどこにいるのかわからない)」
アスペクト標識の違いによって, 意味がかなり異なる。

4-18-b 私は彼が今日来ることを知っている。【知覚構文】

aɲ tisiŋ aeʔ hijug-a men-e-a=ɲ itu-a-n-a.
1SG today 3SG come-IND say-E-IND=1SG.SBJ know-CIS-INTR-IND
「私は今日彼が来るということを知っている」

4-19 彼は自分(のほう)が勝つと思った。【引用文中の再帰】

iniʔ do apan daɽi leka=e ʔoor-ja-d-taiken-a.
3SG TOP self be.able like=3SG.SBJ think-INTR-TR-COP.PAST-IND
「彼は自分が勝つと思っていた」

4-20-a 私は(コップの)水(の一部)を飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

aɲ daʔ modcokoe=ɲ nuu-ke-d-a.
1SG water little=1SG.SBJ drink-COMPL-TR-IND
「私は水を少し飲んだ」

4-20-b 私は(コップの)水を全部飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

aɲ daʔ soben=ɲ nuu-ke-d-a.
1SG water all=1SG.SBJ drink-COMPL-TR-IND
「私は水を全部飲んだ」

4-21 彼は肉を食べない。【恒常的な否定文】

jilu ka-e jojom-a.
meat NEG-3SG.SBJ eat-IND
「彼は肉を食べない」
jojom は jom 「食べる」の部分重複形で, 「慣習的に食べない」ことを示す。

4-22-a 今日は寒い。 【感覚述語・非人称文／感覚主体の存在が感じられない，より客観的な表現】

tisiŋ rabaŋ-ge-a.
today cold-EMPH-IND
「今日は寒い」

4-22-b 私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。 【感覚述語・非人称文／斜格主語】

rabaŋ-ja-ʔ-ɲ-a.
cold-INGR-TR-1SG.OBJ-IND
「私は寒い」（経験者目的語構文）

4-23 人がとても多かったことに私は驚いた。 【（感情主体が受動的である）感情述語】

hoʔo-ko bese saŋgi=ko taiken-a. ena mente=ɲ bakuaŋ-ja-n-a.
people-PL very many=3PL.SBJ COP.PAST-IND that reason=1SG.SBJ surprise-INGR-INTR-IND
「人がとても多くいた。だから私はとても驚いた」

4-24 雨が降り始めた。 【現象文・現場での直接体験】

gama eʔeʔ-ja-d-a-e.
rain begin-INGR-TR-IND-3SG.SBJ
「雨が始まった」（雨は有生名詞とみなすので，3人称接辞が必要）

4-25 この本はよく売れる。 【中間構文】

ne kitab bese akiriŋ-oʔ-a.
this book well sell-PASS-IND
「この本はよく売れる」

5. 「所有・存在表現」（語学研究所論集 第18号）

ムンダ語では have にあたる動詞がなく，-taʔ-re menaʔ 「～のところにある」と表現する。ヒンディー語など，インドの言語でも同様の表現する。

5-1 あの人は青い目をしている。／青い目の人・目が青い人

【一体的（譲渡不可能的）な，恒常的な所有(1)】

en hoʔo-raʔ med do nil-ge-a.
that person-GEN eye TOP blue-EMPH-IND
「その人の目は青い」

5-2 あの女 {は／の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている／長い髪の女・髪の長い女

【一体的な，恒常的な所有(2)】

en kuʔi-raʔ ub jiliŋ-ge-a.
that woman-GEN hair long-EMPH-IND
「あの女の髪は長い」

5-3 あの人には髭がある。／髭の男

【非普通所有物】

en hoɔo=e? gucu-aka-n-a.

that person=3SG.SBJ beard-CONT-INTR-IND

「その人は髭がある」

ムンダ語の典型的な例で、「髭」が動詞語幹のスロットを占めて、動詞となっている。

5-4 あの人には（見る）目がある。／見る目のある人

【慣用句的表現】

am do bese maja hoɔo-ko=m lel-urum-ko-a.

2SG TOP very well person-PL=2SG.SBJ see-recognise-3PL.OBJ-IND

「君はとてもよく人を見て判断する」

この慣用的な言い方はないが、否定的な意味での慣用的表現が以下である。

am do med bano? ci.

2SG TOP eye COP.NEG Q

「お前は目がないのか」

（目がないとは「周りをよく見ていない」あるいは「いい人か、悪い人かがわからない」ことを意味する）

5-5 あの人は22歳だ。／22歳の人

【側面語のある表現(1)】

en hoɔo do 22 umar-aka-n-a.

that person TOP 22 age-CONT-INTR-IND

「その人は22才です」

umar「年齢」を動詞として使っている。

5-6 あの人は優しい性格だ。／優しい性格の人

【側面語のある表現(2)】

en hoɔo do norom-ge-a.

that person TOP soft-EMPH-IND

「その人は人当たりが柔らかい」

「優しい」にあたるような語彙が見当たらない。「親切な」も *dengahoɔo*「助ける人」という表現ぐらいだろうか。

5-7 あの人は背が高い。／背の高い人

【側面語のある表現(3)】

en hoɔo do jiliŋ/salangi-ge-a.

that person TOP tall-EMPH-IND

「その人は背が高い」

5-8 あの人は背が190センチもある。

【側面語のある表現(4), 属性数量詞構文】

en hoɔo do 6 feet jiliŋ/salaŋgi-ge-a.
 that person TOP 6 feet tall-EMPH-IND
 「その人は6フィート背が高い」

5-9 その石は四角い形をしている。／四角い（形の）石

【側面語のある表現(5)】[無生物が主語でも、「持つ」にあたる動詞が使える言語があるだろうか？

「その本は値段が高い。／値段の高い本」のような質問項目でも良い。]

en kitab do gonon⁷-ge-a.
 that book TOP expensive-EMPH-IND
 「その本は値段が高い」

5-10 あの人には才能がある。／才能のある人

【属性】

en hoɔo-taʔ-re gun⁸ menaʔ.
 that person-place-LOC talent COP
 「その人には才能がある」

5-11 あの人には病気が。／あの人には熱がある。／病気の人

【一時的属性】

en hoɔo do=e rogo-ta-n-a.
 that person TOP=3SG.SBJ sick-PROG-INTR-IND
 「その人は病気です」

「熱がある」は以下のように経験者目的語構文が一般的である。

en hoɔo do rua-ja-ʔ-i-a.
 that person TOP fever-INGR-TR-3SG.OBJ-IND
 「その人は熱がある」

5-12 あの人には青い服を着ている。／青い服の男

【衣服等(1)】

en hoɔo do nil lijaʔ=e tusiŋ-aka-n-a.
 that person TOP blue clothes=3SG.SBJ wear-CONT-INTR-IND
 「その人は青い服を着ている」

5-13 あの人にはメガネをかけている。／メガネの男

【衣服等(2)】

en hoɔo do=e? casma⁹-aka-n-a.
 that person TOP=3SG.SBJ glasses-CONT-INTR-IND
 「その人は眼鏡をかけている」

⁷ gononŋ は名詞としては「値段」を意味する。

⁸ gun はヒンディー語からの借用である。

⁹ casma 「眼鏡」はヒンディー語からの借用語である。

casma「眼鏡」を動詞として使っている。

5-14 あの人には妻がいる。／既婚の人・妻のいる人

【親族の所有(1)】

en hoɔ do kuɟi menaʔ-i-a.

that person TOP wife COP-3SG.OBJ-IND

「その人は妻がいる」(コピュラ動詞の人称接辞は INDicative marker の前のスロットを占めるので、目的語とみなした)

5-15 あの人には3人子供がいる。／3人の子持ちの人・あの人の3人の子供／妊娠している女性

【親族の所有(2)】

en hoɔ do api hoɔ hon-ko menaʔ-ko-a.

that person TOP three person child-PL COP-3PL.OBJ-IND

「その人は三人の子供がいる」(api hoɔ は数詞+助数詞を示す)

以下の方が一般的である。

en hoɔ taʔ-re api hoɔ hon-ko menaʔ-ko-a.

that person place-LOC three person child-PL COP-3PL.OBJ-IND

「その人のところには三人の子供がいる」

5-16 タコには足が8本ある。(ムンダ世界にはタコはいないので、クモにした)

【普遍的な事実】

nindiram do iralia=e kaɟa-aka-n-a.

spider TOP eight=3SG.SBJ leg-CONT-INTR-IND

「クモには足が8本ある」

kaɟa「足」を動詞として使用する。普遍的事実の場合は taʔ-re menaʔ は使わない。

5-17 その飲み物にはアルコールが入っている。／アルコール入りの飲み物

【ともに無生物, 含有物】

arki-re hurumsuku rasi jama-aka-n-a.

wine-LOC honey liquid mix-CONT-INTR-IND

「蒸留酒に蜂蜜が入っている」

5-18 あの人はお金を持っている。／お金持ちの人

【もともと一般的な所有, やや恒常的】

en hoɔ taʔ-re paisa menaʔ.

that person place-LOC money COP

「その人のところにはお金がある＝その人はお金を持っている」

en hoɔ do paisa-n hoɔ.

that person TOP money-GEN person

「その人はお金持ちの人」

5-19 おまえのところには犬がいるか？／犬のいる人

【所有， やや恒常的， 所有物は有生・家畜】

am taʔ-re seta menaʔ-i-a ci.

2SG place-LOC dog COP-3SG.OBJ-IND Q

「お前のところに犬はいるのか」

5-20 おまえは（自分の）ペンを持っているか？／ペンを持っている人

【一時的携帯物・自分のもの】

am taʔ-re ol-te-aʔ menaʔ ci.

2SG place-LOC write-INS-GEN COP Q

「お前のところに書くものはあるか」

5-21 あの人は（誰か別の人の）ペンを持っている。

【一時的携帯物・他人のもの】

en hoʔo do eʔaʔ-niʔ-aʔ pen sab-aka-n-a.

that person TOP other-person-GEN pen grab-CONT-INTR-IND

「その人は他人のペンをつかんでいる」

5-22 あの人は運がいい。／幸運な人

【抽象的・一時的所有物】

en hoʔo-raʔ nasib bes-ge-a.

that person-GEN fate good-EMPH-IND

「その人の運がいい」

en hoʔo do nasib-an hoʔo.

that person TOP fate-GEN person

「その人は運のいい人」

5-23 ここは石が多い。／石の多い土地

【恒常的存在>状態／性質】

ne-taʔ do diri-ge-a.

this-place TOP stone-EMPH-IND

「ここには石が多い」（この場所以外では石が少ないがここには石が多い）

ne-taʔ do diri ge puraʔ menaʔ.

this-place TOP stone EMPH many COP

「ここは石が多くある」

5-24 その部屋には椅子が3つある／3つ椅子のある部屋

【非恒常的存在と数量】

en oʔaʔ-re apia gaŋɖu menaʔ. / en oʔaʔ-re gaŋɖu apia menaʔ.

that house-LOC three stool COP / that house-LOC stool three COP

「その家には三つの椅子がある。その家には椅子が三つある」

5-25 テーブルの上にスプーンがある。 / スプーンのあるテーブル

【存在・存在が新情報】

tebal cetan-re camaci mena?

table upper-LOC spoon COP

「テーブルの上にスプーンがある」

5-26 そのスプーンはテーブルの上にある。 / テーブルにあるスプーン

【所在・場所が新情報】

en camaca tebal cetan-re mena?

that spoon table upper-LOC COP

「そのスプーンはテーブルの上にある」

5-27 そのペンは私のだ。・そのペンは太郎のだ。 / 私のペン・太郎のペン

【所有物, 属格のプロトタイプ】

en pen do ap-ag-a?

that pen TOP 1SG-GEN-GEN

「そのペンは私のだ」

ap-a? は「私の」を意味し, ap-ag-a? は「私のもの」を意味する。

en pen do ap-a? pen.

that pen TOP 1SG-GEN pen

「そのペンは私のペン」

5-28 昨日, 学校で火があった。 / 私は明日用事があります。

【できごとの生起】

hola iskul-re sengel lagao-ja-n-a.

yesterday school-LOC fire set-INGR-INTR-IND

「昨日, 学校で火がついた」

ap do gapakami mena?-a.

1SGTOP work COP

「私は明日仕事がある」

5-29 (この世には) お化けなんていない。

【実在文】

ne disum-re bongka-ko ban-ko-a.

this country-LOC ghost-PL COP.NEG-3PL.OBJ-IND

5-30 (そこには) 英語を話す人もいるが, 話さない人もいる。

【絶対存在文(1)】

en-taʔ-ren hoʔo-ko aŋgrej jagar-e hoʔo-ko menaʔ-ko-a.
 that-place-GEN person-PL English speak-E person-PL COP-3PL.OBJ-IND
 ka jagar-e hoʔo-ko menaʔ-ko-a.
 NEG speak-E person-PL COP-3PL.OBJ-IND

「その人たちは英語を話す人もいるし、話さない人もいる」

5-31 私より英語ができる人は（ほかに／もっと）います。

【絶対存在文(2)】

aŋ-ate aŋgrej jagar-e hoʔo-ko menaʔ-ko-a.
 1SG-ABL English speak person-PL COP-3PL.OBJ-IND

「私より英語を話す人たちはいる」

5-32 ちょっとあなたにお願いがあります。

【抽象的なことの所有・発話内効力のある文】

am honaŋ modcokoeʔ kami-denga-nog-a-bu-re honaŋ.
 2SG CONDI little work-help-little-IND-1PL.INCL-LOC CONDI

「もしもあなたが少し仕事を手伝ってくればいいのだが」（「ちょっとあなたにお願いがあります」のムンダ語的婉曲表現である）

5-33 冬の雨【時間】 東京の家【場所】

rabaŋ din-re-aʔ gama.
 cold day-LOC-GEN rain

「冬の雨」

ranci-re-aʔ oʔaʔ.
 Ranchi-LOC-GEN house

「ラーンチーの家」

5-34 彼の泳ぎ／犬の鳴き声／火山の爆発【B が行為を示す名詞である場合の主体】 車の運転【同じく客体／対象】 ～の小説【A の生産物である B】

seta-ko-aʔ ra<na>ʔ.
 dog-PL-GEN shout.NMLZ

「犬の遠吠え」（ra<na>ʔ は raʔ「叫ぶ. 泣く」の派生で、接中辞-nV-は名詞化する。単なる鳴き声は buʔ）

gaʔi calao 「車を運転」（gaʔi-re-aʔ というと車の部品や車の中のものを指す）

5-35 X さん（固有名詞）のお母さん【親族】 机の横に／机の前に／*机に（来て！）【場所名詞】
 あの人のお母さん【時間的關係】

Dulu-aʔ eŋga-te.
 Dulu-GEN mother-3SG

「ドゥルのお母さん」（親族名称にだけ人称接辞がつく）

tebal atom/ tebal ayar.
 table side/ table front

「テーブルの横」「テーブルの前」(属格を必要としない)

tebal-ta?-re hiju?-me. / tebal-japa?-re hiju?-me.
table-place-LOC come-2SG.IMP / table-near-LOC come-2SG.IMP

「テーブルのところにきて」「テーブルの近くにきて」

en hoꞵo-a? tayom-te.
that person-GEN after-ALL

「その人の次に」(位置の前後 ayar/tayom と時間的前後 sida/tayom で後だけ同じである)

5-36 バラの花びら【種別】 果物のナイフ【用途】 紙の飛行機【材料・材質】

チューリップの絵【内容】 花の匂い【産出物】 英文の手紙【表現形式(?)】

日本語の先生【職種】 井戸の水【取得源】[「～の果物」のような産地でも良い]

雨の日【状況】

sarjom-re-a? baa

sal-LOC-GEN flower

「サラソウジュの花」

joo-ko hoyo-te-a? kaꞵu

fruit-PL peel-INSTR-GEN knife

「果物を剥くためのナイフ」(joo-re-a? kaꞵu というと果物でできたナイフを意味する)

kagoj-re-a? jaaj

paper-LOC-GEN airplane

「紙の飛行機」は可能だが、以下の方がよい

kagoj-te bai-aka-n jaaj

paper-INSTR make-CONT-INTR airplane

「紙で作った飛行機」

genda baa-re-a? citra

marigold flower=LOC-GEN picture

「マリーゴールドの花の絵」

baa-re-a? soan

flower-LOC-GEN flavor

「花の香り」

angrej-te ol-aka-n ciꞵi

English-INSTR write-CONT-INTR letter

「英語の手紙」

japani masꞵar

Japanese teacher

「日本語の先生」

kua-re-a? da?

well-LOC-GEN water

「井戸の水」

gama din

rain day

「雨の日」(属格接辞はない)

5-37 妹の花子／社長の田中さん 【同格】

ni? do boko-n koʔa dulu.

3SG TOP younger-my boy dulu

「こいつは弟のドウル」

同格では属格を使うとおかしいと感じる。

5-38 となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ (が昨日突然パンクしたんだって.) 【属格の連続使用】

oʔa?-japa?-ren songe-a? apu-te-a? gaʔi-ra? ʔayar pancar-ja-n-a.

house-near-GEN friend-GEN father-his-GEN car-GEN tire puncture-INGR-INTR-IND

「家の近くの友人のお父さんの車のタイヤがパンクした」

属格の連続はかなり可能であるが、属格の形式が違うことも関連するのかも知れない。

6. 「他動性」(語学研究所論集 第19号)

6-1 【直接影響・変化】

6-1-a 彼はそのハエを殺した。

ae? do en loko-ko=e? goe?¹⁰-ke-d-ko-a.

3SG TOP that fly-PL=3SG:SBJ kill-COMPL-TR-3PL:OBJ-IND

「彼はそのハエを殺した」

6-1-b 彼はその箱を壊した。

ae? do en baksa=e? bagaʔao-ke-d-a.

3SG TOP that box=3SG:SBJ break-COMPL-TR-IND

「彼はその箱を壊した」

6-1-c 彼はそのスープを温めた。

ae? do en jiluutu=? honʔoe?-ke-d-a.

3SG TOP that meat curry=3SG:SBJ heat-COMPL-TR-IND

「彼はその肉のカレーを温めた」

6-1-d 彼はそのハエを殺したが、死ななかつた。

ae? do en loko-ko=e? goe?-ke-d-ko-a mendo jetao ka-ko

3SG TOP that fly-PL=3SG:SBJ kill-COMPL-TR-3PL:OBJ-IND but not.all NEG-3PL:SBJ

goe?-ja-n-a.

die-INGR-INTR-IND

「彼はそのハエたちを殺したが、一匹のハエも死ななかつた」

¹⁰ goe? は他動詞として目的語を取れば「殺す」の意味になり、自動詞として目的語を取れば「殺された」の意味ではなく、「死ぬ」の意味を持つ。

6-2 【直接影響・無変化】

6-2-a 彼はそのボールを蹴った。

ae? do en guli pada-ke-d-a.

3SG TOP that ball kick-COMPL-TR-IND

「彼はそのボールを蹴った」

6-2-b 彼女は彼の足を蹴った。

故意に蹴る場合とうっかり蹴る場合で違いがある。「故意に蹴る」のは目的が「足」で無生物なので目的語の人称が示されないが、「うっかり蹴る」のは目的が「彼」なので、三人称単数の人称が表示される。

en kuʃi do en koʃa-aʔ kaʃa=e pada-ke-d-a.

that girl TOP that boy-GEN leg=3SG:SBJ kick-COMPL-IND

「その女はその男の足を（故意に）蹴った。」

en kuʃi do en koʃa kaʃa-re=? pada-ki-ʔ-i-a.

that girl TOP that boy leg-LOC=3SG:SBJ kick-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND

「その女はその男の足に（うっかり）蹴ってしまった」

6-2-c 彼はその人にぶつかった（故意に）。

ae? do en hoʃo=e ʃesa-ki-ʔ-i-a.

3SG TOP that person=3SG:SBJ push-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND

「彼はその人に（故意に）ぶつかった」

6-2-d 彼はその人とぶつかった（うっかり）。

ae? do en hoʃo=e tuguʃi-ki-ʔ-i-a.

3SG TOP that person=3SG:SBJ hit-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND

「彼はその人に（うっかり）当たってしまった」

6-3 【知覚 2A vs. 2B】

6-3-a あそこに人が数人見える。

han-taʔ-re bar-api hoʃo-ko menaʔ-ko-a.

yonder-place-LOC 2-3 person-PL COP-3PL:SBJ-IND

「あそこに、2, 3 人がいる」

6-3-b 私はその家を見た。

ap en oʃaʔ=ʃi lel-aka-d-a.

1SG that house=1SG:SBJ see-CONT-TR-IND

「私はその家を見た（ことがある）」

ap en oʃaʔ=ʃi lel-ke-d-a.

1SG that house=1SG:SBJ see-COMPL-TR-IND

「私はその家を見た（ので、もう見に行かない）」

ap en oʔaʔ=ɲ lel-la-ʔ-a.
 1SG that house=1SG:SBJ see-ANT-TR-IND
 「私はその家をすでに見た（が、今はその家にはいない）」

6-3-c 誰かが叫んだのが聞こえた.
 okoe kakala-ja-d-a. ena ge=ɲ ayum-ke-d-a.
 who shout-INGR-TR-IND that EMPH=1SG:SBJ hear-COMPL-TR-IND
 「誰かが叫んでいる。わたしはそれを聞いた」

6-3-d 彼はその音を聞いた.
 aeʔ do en saɲayum-ke-d-a.
 3SG TOP that sound.hear-COMPL-TR-IND
 「彼はその音を聞いた」

6-4 【(知覚 2A) 発見・獲得・生産など】

6-4-a 彼は（なくした）カギを見つけた.
 aeʔ do ad-ja-n-cabi=? nam-ke-d-a.
 3SG TOP lost-INGR-INTR-key=3SG:SBJ fIND-COMPL-TR-IND
 「彼はなくした鍵を見つけた」

6-4-b 彼は椅子を作った.
 aeʔ do gaŋɖu=i bai-ke-d-a.
 3SG TOP chair=3SG:SBJ make-COMPL-TR-IND
 「彼は椅子を作った」

6-5 【追及】

6-5-a 彼はバスを待っている.
 aeʔ do bas=e taŋgi-ta-n-a.
 3SG TOP bus=3SG:SBJ wait-PROG-INTR-IND
 「彼はバスを待っている」

6-5-b 私は彼が来るのを待っていた.
 aeʔ hijuʔ-ta-n-a mente aeʔ=ɲ taŋgi-ta-n-a.
 3SG come-PROG-INTR-IND because 3SG=1SG:SBJ wait-PROG-INTR-IND
 「彼が来るのでわたしは彼を待っていた」

6-5-c 彼は財布を探している.
 aeʔ paisa=e daŋa-ta-n-a.
 3SG money=3SG:SBJ search-PROG-INTR-IND
 「彼はお金を探している」

6-6 【知識 1】

6-6-a 彼はいろんなことをよく知っている。

ae? do soben leka-n seŋa bese itu-a-n-a.

3SG TOP all like-ADJVLZ knowledge very know-CIS-INTR-IND

「彼はすべてのような知識をよく知っている」

6-6-b 私はあの人を知っている。

aŋ en hoŋo=ŋ itu-an-a.

1SG that person=1SG:SBJ know-CIS-INTR-IND

「わたしはその人を知っている」

6-6-c 彼はロシア語ができる。

ae? hINDi=? jagar-daŋi-a.

3SG HINDi=3SG:SBJ speak-be able-IND

「彼はヒンディー語を話すことができる」

6-7 【知識 2】

6-7-a あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか？

aŋ hola=ŋ kaji-ke-d-kaji do=m ʈoor-ja-d-aci.

1SG yesterday=1SG:SBJ say-COMPL-TR-word TOP=2SG:SBJ remember-INGR-TR-INDQ

「わたしが昨日言った言葉を君は覚えていますか」

6-7-b 私は彼の電話番号を忘れてしまった。

aŋay-a? oŋa?=ŋ riŋŋ-ke-d-a.

1SG 3SG-GEN house=1SG:SBJ forget-COMPL-TR-IND

「わたしは彼の家を忘れてしまった」

6-8 【感情 1】

6-8-a 母は子供たちを深く愛していた。

enga-te do hon-ko bese=? dulaŋa-ja-d-ko-a.

mother-his TOP child-PL very=3SG:SBJ love-INGR-TR-3PL:OBJ-IND

「彼の母は子供達をとっても愛しています」

6-8-b 私はバナナが好きだ。

aŋ do kadal bese=ŋ suku-a.

1SG TOP banana very=1SG:SBJ like-IND

「わたしはバナナがとても好きだ」

6-8-c 私はあの人を嫌いだ。

aŋ do en hoŋo ka-ŋ suku-a-i-a.

1SG TOP that person NEG-1SG:SBJ like-BEN-3SG:OBJ-IND

「わたしはその人が好きじゃない」

6-9 【感情 2】

6-9-a 私は靴が欲しい。

ap do juta=n nam-ta-n-a.

1SG TOP shoes=1SG:SBJ get-PROG-INTR-IND

「わたしは靴を得たい」

6-9-b 今、彼にはお金が要る。

naa? do ae?ʔaka=e jarur-aka-n-a.

now TOP 3SG money=3SG:SBJ need-CONT-INTR-IND

「今、彼はお金を必要としている」

6-10 【感情 3】

6-10-a (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている。

engga-n boko-n koʔa hosoto-ki-ʔ-i-a mente engga-n bese=?

mother-my younger-my boy lie-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND because mother-my very=3SG:SBJ
kis-ja-ʔ-i-a.

angry-INGR-TR-3SG:OBJ-IND

「わたしの母はわたしの弟が嘘をついたのでわたしの母はとても怒っている」

6-10-b 彼は犬が怖い。

ae? do seta-ko=e? boro-a-ko-a.

3SG TOP dog-PL=3SG:SBJ fear-BEN-3PL:OBJ-IND

「彼は犬たちを怖がっている」

6-11 【関係 1】

6-11-a 彼は父親に似ている。

ae? do apu-te leka lel-oʔ-a.

3SG TOP father-his like see-PASS-IND

「彼は彼の父親のように見える」

6-11-b 海水は塩分を含んでいる。

samundar-ra? da? do buluŋ-ge-a.

sea-GEN water TOP salt-EMPH-IND

「海の水は塩っぱい」

6-12 【関係 2】

6-12-a 私の弟は医者だ。

ap-a? boko-n koʔa do=e ɖakʔar-aka-n-a.

1SG-GEN younger-my boy TOP=3SG:SBJ doctor-CONT-INTR-IND

「わたしの弟は医者である」

6-12-b 私の弟は医者になった.

ɑŋ-a? boko-ŋ koɾa do=e ɖakɾar-ja-n-a.
1SG-GEN younger-my boy TOP=3SG:SBJ doctor-INGR-INTR-IND
「わたしの弟は医者になった」

6-13 【能力1】

6-13-a 彼は車の運転ができる.

ae? do gaɾi=? calao-daɾi-a.
3SG TOP car=3SG:SBJ drive-beable-IND
「彼は車を運転することができる」

6-13-b 彼は泳げる.

ae? do=e oyar-daɾi-a.
3SG TOP=3SG:SBJ swim-be.able-IND
「彼は泳ぐことができる」

6-14 【能力2】

6-14-a 彼は話をするのが上手だ.

ae? do bese maja=e jagar-a.
3SG TOP very well=3SG:SBJ talk-IND
「彼はとてもうまく話す」

6-14-b 彼は走るのが苦手だ.

ae? do bese maja nir ka-e? daɾi-a.
3SG TOP very well run NEG-3SG:SBJ beable-IND
「彼はうまく走ることができない」

6-15 【移動】

6-15-a 彼は学校に着いた.

ae? do isukul-te=? teba?-ke-d-a.
3SG TOP school-ALL=3SG:SBJ reach-COMPL-TR-IND
「彼は学校に着いた」

6-15-b 彼は道を渡った／横切った.

ae? do saŋɖaka=e parom-ke-d-a.
3SG TOP road=3SG:SBJ cross-COMPL-TR-IND
「彼は道路を横切った」

6-15-c 彼はこの道を通った.

ae? do ne hora=e sen-ke-n-a.
3SG TOP this road=3SG:SBJ go-COMPL-INTR-IND

「彼はこの道を行った」

6-16 【感覚 1】

6-16-a 彼はお腹を空かしている.

ae? do reŋged-ja-ʔ-i-a.

3SG TOP hungry=INGR-TR-3SG:OBJ-IND

「彼はお腹を空かしている」(経験者目的語構文)

6-16-b 彼は喉が渇いている.

ae? do daʔtetan-ja-ʔ-i-a.

3SG TOP water.thirsty-INGR-TR-3SG:OBJ-IND

「彼は喉が渇いている」(経験者目的語構文)

6-17 【感覚 2】 [完全な一項, もしくは0項の感覚述語である.]

6-17-a 私は寒い.

raban-ja-ʔ-n-a.

cold-INGR-TR-1SG:OBJ-IND

「(熱があつて) わたしは寒い」(経験者目的語構文)

raban-ta-n-a-n.

cold-PROG-INTR-IND-1SG:SBJ

「(冬の寒いときに服をあんまり着ていないために) わたしは寒い」

6-17-b 今日は寒い.

tisiŋ raban-ta-n-a.

today cold-PROG-INTR-IND

「今日は寒い」

tisiŋ raban-ja-d-a-e¹¹.

today cold-INGR-TR-IND-3SG:SBJ

「今日は(風が吹いて)寒い」

6-18 【(社会的) 相互行為 1】

6-18-a 私は彼を手伝った/助けた.

aŋ do ae? ge=n denŋa-ki-ʔ-i-a.

1SG TOP 3SG EMPH=1SG:SBJ help-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND

「わたしは彼を助けた」

6-18-b 私は彼がそれを運ぶのを手伝った.

aŋ do ae? saman idi-nanŋen=n denŋa-ki-ʔ-i-a.

1SG TOP 3SG luggage bring-for=1SG:SBJ help-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND

「わたしは彼が荷物を運ぶために, 手助けした」

¹¹ この有生名詞の人称接辞は風が吹いていて, 風が吹く場合に三人称の接辞がつく

6-19 【(社会的) 相互行為 2 (言語行動)】

6-19-a 私はその理由を彼に聞いた.

ap cana? mente Soma=jn kuli-ki-?-i-a.
 1SG what because Soma=1SG:SBJ ask-COMPL-TR-3SG:OBJ-IND
 「わたしは何のためにとソマに聞いた」

6-19-b 私はそのことを彼に話した.

ap en jagar Soma=jn udub-aka-?-i-a.
 1SG that talk Soma=1SG:SBJ inform-CONT-TR-3SG:OBJ-IND
 「わたしはその話をソマに話した」

6-20 【再帰・相互】

6-20-a 私は彼と会った.

ap Soma-lo?=jn na<pa>m-ja-n-a.
 1SG Soma-COM=1SG:SBJ meet-INFIX-INGR-INTR-IND
 「わたしはソマと会った」

7. 「連用修飾的複文」(語学研究所論集 第 20 号)

7-1 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる.

【同時動作】

ae? do janau peipar paɾao-paɾao-te maŋɟi=? jom-ta-n-a.
 3SGTOP always paper read-read-INS food=3SG.SBJ eat-PROG-INTR-IND
 「彼はいつも新聞を読んで読んで、ご飯を食べている」
 ae? do janau peipar paɾao-ta-n-lo? maŋɟi=? jom-ta-n-a.
 3SGTOP always paper read-PROG-INTR-COM food=3SG.SBJ eat-PROG-INTR-IND
 「彼はいつも新聞を読みつつ同時にご飯を食べている」

7-2 (私は) 昨日は時に家に帰って、少しテレビを見て (から)、寝ました.

【継起的動作・物語的連鎖】

ap hola oɾa?-te sen-ke-n-ate modcokoi? TV lel-ke-ate=jn
 1SG yesterday house-ALL go-COMPL-INTR-ABL little.while TV watch-COMPL-ABL=1SG.SBJ
 duɾum-ja-n-a.
 sleep-INGR-INTR-IND
 「わたしは昨日家に行ってから、少しテレビを見てから寝ました」

7-3 (私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった.

【継起：理由】

hola siɟi-ate=jn uyu?-ja-n-ci=jn gao-ja-n-a.
 yesterday stairs-ABL=1SG.SBJ fall-INGR-INTR-Q=1SG.SBJ injury-INGR-INTR-IND
 「わたしは昨日階段から落ちて、ケガをしてしまった」

7-4 今日も父は会社に行つて、兄は大学に行つた。

【異主語】

tisiŋ-o apu-n do opis-te=? seno?-ja-n-a.
 today-too father-1SG TOP office-ALL=3SG.SBJ go-INGR-INTR-IND.
 ad dada-n do kolej-te=? seno?-ja-n-a.
 and brother-1SG TOP college-ALL=3SG.SBJ go-INGR-INTR-IND
 「今日も私の父は会社に行つた。そしてわたしの兄は大学に行つた」

7-5 (あの人は) 今日帽子をかぶつて歩いてた。

【付帯状況】

en hoŋo tisiŋ do tupi-ke-ate=? sen-baŋa-ta-n-a.
 that person today TOP hat-COMPL-ABL=3SG.SBJ go-around-PROG-INTR-IND
 「その人は今日は帽子をかぶつて歩き回つている」

7-6 (私は) 休みの日にはいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。

【並行動作】

cuŋi hulaŋ do janao kitab paŋao cae TV=n lel-ta-n-a.
 holiday day TOP always book read or TV=1SG.SBJ watch-PROG-INTR-IND
 「わたしは休みの日にはいつも本を読むか、テレビを見ています」

7-7 時間がないから、急いで行こう。

【理由・カラ】

samae bano? ena-te sekeŋa-bu senog-a.
 time not.exist that-INS hurry=1PL.INCL.SBJ go-IND
 「時間がない。そして急いで行こう」

普通は次のように *mente* を使うが、因果関係がはっきりしないときは *mente* がおかしく感じる。ムンダ人にとっては時間がないことと急ぐことの因果関係をあまり感じない。

paesa bano?-mente ka-n sen-ja-n-a.
 money not.exist-because NEG-1SG.SBJ go-INGR-INTR-IND
 「お金がないから、わたしは行かなかつた」

7-8 昨日は頭が痛かつたので、いつもより早く寝ました。

【理由・ノデ】

hola do laga-te sekeŋa=n duŋum-ja-n-a.
 yesterday TOP tired-INS early=1SG.SBJ sleep-INGR-INTR-IND
 「昨日は疲れて、わたしは早く寝た」¹²

¹² 日本語の例文については、ムンダ人には頭が痛いと言早く寝るといふ因果関係がよく理解できないらしく、「頭が痛ければ寝れないはずだ」との指摘を受けた。

7-9 あの人は本を買いに行った。

【趨向／移動の目的】

en hoꞵo do kitab kirij-nangen=e? seno?-ja-n-a.
that person TOP book buy-for=3SG.SBJ go-INGR-INTR-IND
「その人は本をかうために出ていった」

7-10 (彼は) 外がよく見えるように窓を開けた。

【目的・意図】

masakal bolo-ka-mente kiꞵiki=? ni?-ke-d-a.
light enter-OPT-because window=3SG.SBJ open-COMPL-TR-IND
「光が入ってほしいと、彼は窓を開けた」

7-11 ここでは夏になると、よく雨が降ります。

【恒常的条件】

上の例文は恒常的条件を示すが、下の例文は一般的な場合を示す。

nerē do jeꞵe-singi teba?-ja-n-redo bese=? gama-e-a.
here TOP hot-day reach-INGR-INTR-COND very=3SG.SBJ rain-E-IND
「ここでは暑季になると、よく雨が降る」

nerē do jeꞵe-singi teba?-ja-n-ci bese=? gama-e-a.
here TOP hot-day reach-INGR-INTR-Q very=3SG.SBJ rain-E-IND
「ここでは暑季になれば、よく雨が降る」

7-12 窓を開けると、冷たい風が入って来た。

【確定条件・生起】

連続的動作とすると、Aspect Marker が重要である。最初の動作は完了相で、続く動作を始動相でしめす。

kiꞵiki ni?-ke-n-ci tutukun hoyo bolo-ja-n-a.
window open-COMPL-INTR-Q cool wind enter-INGR-INTR-IND
「窓を開けると、冷たい風が入ってきた」

条件節では主節では Aspect Marker を取れない。

kiꞵiki ni?-ja-n-redo tutukun hoyo bolo-a.
window open-INGR-INTR-COND cool wind enter-IND
「窓を開けると、冷たい風が入るだろう」

7-13 坂を上ると、海が見えた。

【確定条件・発見】

ra<na>kab rakab-ja-n-ci buru lel-o?-ta-n-a.
rise.NMLZ go.up-INGR-INTR-Q mountain see-PASS-PROG-INTR-IND
「坂を上ると、山が見えている」(ra<na>kab は rakab 「のぼる」の派生形で、接中辞-nVは名詞化)

条件節では Aspect Marker を取れない。

ra<na>kab rakab-ja-n-redo buru lel-o?-a.
rise.NMLZ go.up-INGR-INTR-COND mountain see-PASS-IND
「坂を上ったら山が見える」

7-14 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。

【仮定条件】

もっとも default で一般的な条件文である。この文で現れる形式が他の文での形式を見る基準となる。

gapa gama-ja-n-redo am-ta? ka-n sen-a.
tomorrow rain-INGR-INTR-COND 2SG-place NEG-1SG.SBJ go-IND
「明日雨が降ったら、わたしはお前の所に行かない」

7-15 もっと早く起きればよかったなあ。

【反実仮想】

上の例文では-redo・・・honaŋ を受ける tera が必要だが、下の例文ではすでに人々が出ていった後と
いったような事実が条件となっている場合を示している。

sekeŋa birid-ja-n-redo honaŋ buru seno?-tera.
early get.up-INGR-INTR-COND SBJV festival go-SBJV
「もっと早く起きていたら、祭りに行っていたのに」

sekeŋa birid-ja-n-re honaŋ.
early get up-INGR-INTR-Q SBJV
「もっと早く起きていたらなあ」

7-16 あんなところへ行かなければよかった。

【反実仮想・前件否定】

7-15 と同様で、上は条件を受ける文が必要で、下はコンテキストによっては必要とされない。

en-ta? do ka sen-ja-n-redo honaŋ bes-ja-n-tera.
that-place TOP NEG go-INGR-INTR-COND SBJV good-INGR-INTR-SBJV
「その場所には行かなかったらよかったのに」

en-ta? do ka sen-ja-n-re honaŋ.
that-place TOP NEG go-INGR-INTR-Q SBJV
「その場所には行かなかったらなあ」

7-17 1に1を足せば、2になる。

【一般的真理】

二つの例文とも可能だが、上の方がよいと感じるという。

miyad-re moyod jama-ja-n-redo baria bai-o?-a.
one-LOC one add-INGR-INTR-COND two make-PASS-IND
「1に1を足せば2になる」

miyad-re moyod jama-ja-n-re baria bai-oʔ-a.
one-LOC one add-INGR-INTR-Q two make-PASS-IND
「1に1を足せば2になる」

7-18 駅に着いたら電話をしてください.

【仮定条件+働きかけのモダリティ】

ranci tebaʔ-ja-n-re pon-e-me.

Ranchi reach-INGR-INTR-LOC phone-E-2SG:IMP

「(ランチャーに向かう途中で電話を掛けている時に) ランチャーに着いたら電話くれ」

ranci tebaʔ-ke-ate pon-e-me.

Ranchi reach-COMPL-ABL phone-E-2SG:IMP

「(これからランチャーに向かう時に) ランチャーに着いたら電話くれ」

7-19 日曜日になったら, みんなで公園に行きたいなあ.

【仮定条件+願望】

「行きたいなあ」は経験者目的語構文になる.

etwar hulan hijuʔ-redo soben-ko-loʔ munqu-buru-te senoʔ-mone-ja-ʔ-n-a.

Sunday day come-COND all-PL-COM Mundu-festival-ALL go-want-INGR-TR-1SG.OBJ-IND

「日曜日がきたら, みんなでムンドゥ祭りに, わたしは行きたいな」

7-20 明日雨が降ったら困るなあ.

【心配】

上の例文は仮定の意味が強く, 下の文は「雨が降れば」必ず困ることを意味する.

gapa gama-ja-n-redo bese balae-oʔ-a.

tomorrow rain-INGR-INTR-COND very trouble-PASS-IND

「明日雨が降ったらとても困る」

gapa gama-ja-n-re bese balae-oʔ-a.

tomorrow rain-INGR-INTR-LOC very trouble-PASS-IND

「明日雨が降ったらとても困る」

7-21 家に来るなら, 電話をしてから来てください.

【時間的前後関係に則していないナラ条件文】

上の例文は仮定の意味が強く, 下の例文は「来る事が決まれば」の意味を持つ.

oʔaʔ-te=m hijuʔ-redo pon-ke-ate hijuʔ-me.

house-ALL=2SG.SBJ come-COND phone-COMPL-ABL come-2SG:IMP

「(もしも) 君が家に来るなら, 電話してから来て下さい」

oʔaʔ-te=m hijuʔ-re pon-ke-ate hijuʔ-me.

house-ALL=2SG.SBJ come-LOC phone-COMPL-ABL come-2SG:IMP

「(すでに他に出かけていて) 君が家に来るなら, 電話してから来て下さい」

7-22 (もうすぐベルが鳴るので) 鳴ったら, 教えてください.

【予想を伴った条件文】

ganʃi saʃi-ja-n-redo udub-a-n-me.
bell sound-INGR-INTR-COND teach-BEN-1SG.OBJ-2SG:IMP
「ベルが鳴ったら教えて下さい」

7-23 (もしかしたらベルが鳴るかもしれないので) もし鳴ったら, 教えてください.

【予想を伴わない条件文】

judi ganʃi saʃi-ja-n-redo udub-a-n-me.
if bell sound-INGR-INTR-COND teach-BEN-1SG.OBJ-2SG:IMP
「もしベルが鳴れば教えて下さい」

7-24 働かざるもの食うべからず. / 働かない者は, 食べるべきではない.

【相関構文】

ka kami-ko do alo ka-ko jom-ka.
NEG work-PL TOP NEG.OPT NEG-PL eat-OPT
「仕事しない人は食べるべきではない」

7-25 もう少しお金があったらなあ.

【言いさし・願望】

modcokoi? paisa mena?-redo honaŋ.
little money COP-COND SBJV
「もう少しお金があればなあ」

7-26 これも食べたら?

【言いさし・提案】

nea-o jom-leka-le-m.
this-too eat-try-ANT-2SG:IMP
「これも食べてみたら?」(命令形が使われているが, これで提案を表す)

7-27 (やりたいなら自分の) 好きなようにやれば?

【言いさし・つき放し】

am-a? suku.
2SG-GEN like
「お前の好きなように」

7-28 このコップは落としても割れない.

【仮定的な逆接】

ne gilás do uyu?-ja-n-re-o ka rapud-o?-a.
this glass TOP fall-INGR-INTR-LOC-too NEG break-PASS-IND

「このコップは落としても割れない」

7-29 このリングは高かったのに、ちっとも甘くない。

【アクチュアルな逆接】

ne uli do gonon ge taiken-a. mendo jeta ka herem-a.
this mango TOP expensive EMPH COP.PAST-IND but any NEG sweet-IND

「このマンゴーは高かったが、ちっとも甘くない」

7-30 彼の家に行ってみたけれども、彼はいなかった。

【逆接3】

ay-a? oŋa?-te=ŋ sen-ke-n-a.
3SG-GEN house-ALL=1SG.SBJ go-COMPL-INTR-IND
mendo ae? do ka-e taiken-a.
but 3SG TOP NEG-3SG.SBJ COP.PAST-IND

「わたしは彼の家に行ったけど、彼はいなかった」

7-31 あの人に来るまで、私はここで待っています。

【時間的期限[1]】

en hoŋo hiju?-jaked nere=ŋ tangi-i-a.
that person come-until here=1SG.SBJ wait-E-IND

「その人に来るまで、わたしはここで待っています」

7-32 あの人に来るまでに、食事を作っておきますよ。

【時間的期限[2]】

en hoŋo hiju?-jaked maŋdi=le bai-a.
that person come-until food=3PL.EXCL.SBJ make-IND

「その人に来るまでに、私たちは食事を作ります」

8. 「情報構造と名詞述語文」(語学研究所論集 第21号)

8-1 えっ、A (固有名詞) が来たの? / いや、A じゃなくて B が来たんだ。

【対比焦点 (主語)】

Soma hiju?-le-n-a ci? ka, Somado ka Sanika ge=? hiju?-le-n-a.
Soma come-ANT-INTR-IND Q. No Soma TOP NEG Sanika EMPH=3SG.SBJ come-ANT-INTR-IND

「ソマが来たのか。いいえ、ソマじゃなくて、サニカが来た」

8-2 誰が来たの? / A が来たよ。

【WH 焦点 (主語)・WH 応答焦点 (主語)】

okoe hiju?-le-n-a. Soma ge=? hiju?-le-n-a.
who come-ANT-INTR-IND. Soma EMPH=3SG.SBJ come-ANT-INTR-IND

「誰が来たか。ソマが来た」

8-3 Aのほうが大きいんじゃないの? / いや, Aじゃなくて, Bのほうが大きいんだよ.

【YesNo 疑問・形容詞述語応答焦点】

Sanika ge maraŋ¹³-ge-a ci? ka, Sanika do ka, Soma ge maraŋ-ge-a.
 Sanika EMPH big-EMPH-IND Q No, Sanika TOP NEG, Soma EMPH big-EMPH-IND
 「サニカが大きいか. いいえ, サニカじゃない, ソマが大きい」

8-4 (電話で) どうしたの? / うん, 今, お客さんが来たんだ.

【文焦点 (自動詞文)】

cana hoba-o?-ta-n-a? naa?do kupul-ko hiju?-ja-n-a.
 what happen-PASS-PROG-INTR-IND now TOP guest-PL come-INGR-INTR-IND
 「何か起こっているの. 今お客達が来たんだ」

8-5 あの子供が A を叩いたんだって! / いや, Aじゃなくて, B を叩いたんだよ.

【対比焦点 (目的語)】

en hon ge Soma=e dal-ki-?-i-a ci. ka, Somado ka,
 that child EMPH Soma=3SG.SBJ strike-COMPL-TR-3SG.OBJ-INDQ No Soma TOP NEG,
 Sanika ge=? dal-ki-?-i-a.
 Sanika EMPH=3SG.SBJ strike-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND
 「その子がソマを叩いたのか. いいえ, ソマではなく, サニカを叩いた」

8-6 赤い袋と青い袋があるけど, どっちを買うの? / (私は) 青い袋を買うよ.

【対比焦点 (目的語, 特に「どっち」という対比的な疑問語の場合)】

ara? sono punđi sono mena?. okoa=m kirin-i-a ci. an do ara?-te-a?
 red shirt white shirt COP which=2SG.SBJ buy-E-IND Q. 1SG TOP red-INS-GEN
 「赤いシャツと白いシャツがある. 君はどちらを買うのか. 赤いの」

8-7 Aはどこですか? / Aは朝からどっかへでかけたよ.

【述語焦点】

Somado kota-re mena?-i-a? Somado setag-ate ko-te=?
 Soma TOP where-LOC COP-3SG.SBJ-IND Soma TOP morning-ABL where-ALL=3SG.SBJ
 seno?-ja-n-a.
 go-INGR-INTR-IND
 「ソマはどこにいますか. ソマは朝からどっかへ行ってしまった」

8-8 (あの子供は) 誰を叩いたの? / (あの子供は) 自分の弟を叩いたんだ.

【WH 焦点 (目的語)・WH 応答焦点 (目的語)】

en hon do okoe=? dal-ki-?-i-a? en hon do ay-a? boko-te
 that child TOP who=3SG.SBJ strike-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND that child TOP 3SG-GEN younger-his

¹³ maraŋ は大小の大を指すが, 年齢の上下での上も指す.

koʒa=e dal-ki-ʔ-i-a.

boy=3SG.SBJ strike-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「その子は誰が叩いたのか. その子はその子の弟を叩いた」

8-9 (電話で) どうしたの? / うん, A が (自分の) 弟を叩いたんだ.

【文焦点 (他動詞文)】

cana hoba-oʔ-ta-n-a? Soma ge ay-aʔ boko-te koʒa=e
 what happen-PASS-PROG-INTR-IND Soma EMPH 3SG-GEN younger-his boy=3SG.SBJ
 dal-ki-ʔ-i-a.

strike-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「何か起こっているの. ソマが彼の弟を叩いた。」

8-10 あのケーキ, どうした? / (ああ, あれは) A が食べちゃったよ.

【目的語主題化, 主題 (目的語) の継続性 いわゆる pro-drop 言語の可能性】

en miʒai cika-ja-n-a. Soma ge=? jom-ke-d-a.
 that sweet what-INGR-INTR-IND. Soma EMPH=3SG.SBJ eat-COMPL-TR-IND

「あのケーキどうしたか. ソマが食べちゃった」

8-11 私が昨日お店から買ってきたのはこの本だ.

【分裂文】

ap hola dukan-ate kiriŋ-au-ke-d-a do nea kitab ge.
 1SG yesterday shop-ABL buy-bring-COMPL-TR-IND TOP this book EMPH

「わたしが昨日お店から買って持ってきたのはこの本だ」

8-12 あの人は先生だ. この学校でもう長年働いている.

【措定文 主題 (名詞述語文の主語) の継続性 いわゆる pro-drop 言語の可能性】

en hoʒo do mastar tan-iʔ. ne isukul-re bese sirma-ate=? menaʔ-i-a.
 that person TOP teacher COP-3SG. this school-LOC very year-ABL=3SG.SBJ COP-3SG-IND

「その人は先生です. この学校にずいぶん前からいます」

8-13 彼のお父さんは, あの人のだ.

【倒置同定文】

ay-aʔ apu-te do en hoʒo ge.
 3SG-GEN father-his TOP that person EMPH

「彼のお父さんはその人だ」

8-14 あの人が彼のお父さんだ.

【同定文】

en hoʒo ge ay-aʔ apu-te.
 that person EMPH 3SG-GEN father-his

「その人が彼のお父さんだ」

8-15 あさってってというのはね、明日の次の日のことだよ。

【定義文】

miyaŋ do gapa-re-a? gapa ge.
the.day.after.tomorrow TOP tomorrow-LOC-GEN tomorrow EMPH
「明後日は明日の明日だ」

8-16 (何人かで入った喫茶店で注文を聞かれて) 私はコーヒーだ。

【ウナギ文】

aŋ do sim jilu am do dali.
1SG TOP chicken meat 2SG TOP dal
「わたしは鶏肉、お前はダル(豆スープ)」

8-17 [(注文した数人分のお茶が運ばれてきて) どなたがコーヒーですか?との問いに] コーヒーは私だ。

【逆行ウナギ文】

sim jilu do aŋ.
chicken meat TOP 1SG
「鶏肉はわたしだ」

8-18 その新しくて厚い本は(値段が)高い。

【形容詞述語文 修飾・並列・述語】

en nawa moŋo kitab do gonon-ge-a.
that new thick book TOP expensive-EMPH-IND
「その新しい厚い本は値段が高い」

8-19 (砂糖入れを開けて) あっ、砂糖が無くなっているよ!

【意外性 (mirativity)】

au?, buluŋ caba-ja-n-a.
INTJ salt run.out-INGR-INTR-IND
「あっ、塩がなくなっちゃった」

8-20 午後、誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ? あっ、そうだ、～君だったな。

【思い出し】

gapa okoe-lo? na<pa>m-taiken-a. okoe-ca? au?, Sanika-lo?.
tomorrow who-COM meet.INFIX-COP.PAST-IND who-or INTJ, Sanika-COM
「明日、誰かと会うはずだった。誰だったっけ。そうだ、サニカとだった」

9. 「情報標示の諸要素」(語学研究所論集 第22号)

9-1 この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。

【統語的に動詞の必須項ではない名詞の統語的軸項としての機能】

ne ote maja aʔaʔ-sakam hoba-oʔ-a. ena-mente ote do gonoŋ-te akiŋiŋ-oʔ-a.
 this land very vegetable-leaf grow-PASS-IND that-because land TOP cost-INS sell=PASS-IND
 「この土地は野菜(山菜・葉)が良く育つ。だから高い値段で売れるだろう」

9-2 私は頭が痛い。だから今日は休む。

【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り外, 統語的軸項としての機能】

booʔ hasu-ja-ʔ-ŋ-a. ena-mente tisiŋ ka-ŋ kami-i-a.
 nead ache-INGR-TR-1SG.OBJ-IND. that-because today NEG-1SG.SBJ work-E-IND
 「私は頭が痛い。だから今日は仕事しない」

9-3 あの**人**だけ, 時間通りに来た。

【限定】

en hoʔo baari samae-re=? hijuʔ-ja-n-a.
 that person only time-LOC=3SG.SBJ come-INDR-INTR-IND
 「その人だけ時間通りに来た」

9-4 これはここで**しか**買えない。

【限定・否定との共起】

nea do ne-re baari=? kiriŋ-daŋi-a.
 this TOP this-LOC only=3SG.SBJ buy-beable-IND
 「これはここでだけ買うことができる」

9-5 その家にいたのは子供**ばかり**だった。

【限定・多数】

en oʔaʔ-re tain-ta-n-ko do hon-ko bairi-ge-a.
 that house-LOC live-PROG-INTR-3PL TOP child-PL only-EMPH-IND
 「その家に住んでいる人たちは子供ばかりです」

en oʔaʔ-re tain-ke-n-ko do hon-ko bairi-taiken-a.
 that house-LOC live-COMPL-INTR-3PL TOP child-PL only-COP.PAST-IND¹⁴
 「その家に住んでいた人たちは子供ばかりだった」

9-6 次回こそ, 失敗ないようにしよう。

【限定・強調】

neskan¹⁵ do ka-ŋ galti-i-a.
 this.time TOP NEG-1SG.SBJ mistake-E-IND
 「今度こそ私は失敗しない」

¹⁵ neskan の分析は ne- は明らかに「これ, この」を kan は「ような」を指すが, -s- がよくわからない。なお, en-kan は「そのような」となる。

9-7 疲れたね, お茶でも飲もう.

【反限定・例示】

laga-ja-n-a-bu. ca=bu nuu-le-a.
tires-INGR-INTR-IND-1PL.SBJ tea=1PL.SBJ drink-ANT-IND
「私たちは疲れた. お茶を飲みましょう」

9-8 水さえあれば, 数日間は大丈夫だ.

【極端・意外】

da? baari mena?-redo atauri calao-a.
water only COP-COND week go-IND
「水だけあれば1週間やれる」

9-9 小さい子供まで, その仕事の手伝いをさせられた.

【極端・意外】

hu<pu>[ɪŋ]¹⁶ hon-ko raŋi en kami-re denŋa-rika-ke-d-ko-a.
small.INFIX child-PL though that work-LOC help-CAUS-COMPL-TR-3PL.OBJ-IND
「小さい子にもかかわらず, その仕事を手伝わせた」

9-10 私はお金なんか欲しくない.

【反極端・低評価】

aŋ paɪsa do ka-ŋ jaru[ɪ-aka-n-a.
1SG money TOP NEG-1SG.SBJ need-CONT-INTR-IND
「わたしはお金を必要としない」

9-11 自分の部屋ぐらい, 自分できれいにしなさい.

【反極端・最低限】

apan oŋa? do apan-te sapa-e-me.
self house TOP self-INS clean-E-2SG.IMP
「自分の家は自分できれいにしなさい」

9-12 私にもちょうだい.

【類似・累加】

aŋ-o om-a-ŋ-me.
1SG-too give-BEN-1SG.OBJ-2SG.IMP
「私にもください」

9-13 お父さんもう帰って来たね. お母さんは?

【反類似・対比 (疑問)】

apu-m do hiju?-ja-n-a. enŋa-m do.
father-2SG TOP come-INGR-INTR-IND. mother-2SG TOP

¹⁶ infix <pV>は動詞に付くと「お互いこ～する」と相互形を形成するが, 形容詞に付くと「とても」と強調を示す.

「あなたのお父さんは帰ってきた。お母さんは」

9-14 誰か(が) 電話してきたよ.

【特定未知 (specific unknown)】

okoy-a? pone hiju?-le-n-a.

who-GEN phone come-ANT-INTR-IND

「誰かの電話がきたよ」

9-15 誰かに聞いてみよう.

【非現実不特定 (irrealis non-specific)】

okoe=bu kuli-li-?-a.

who=1PL.INCL.SBJ ask-ANT-TR-IND

「(私たちは) 誰か(単数)に聞いてみよう」

okoe-ta-ko=bu kuli-le-ko-a.

who-about-PL=1PL.INCL.SBJ ask-ANT-3PL.OBJ-IND

「(私たちは)誰かたち(複数)に聞いてみよう」

9-16 私のいない間に誰か来た?

【疑問 (question)】

ap ka-p tai-ke-n-re okoe hiju?-le-n-a ci.

1SG NEG-1SG.SBJ live-COMPL-INTR-LOC who come-ANT-INTR-IND Q

「私はいないとき誰かが来たのか」

9-17 誰か来たら, 私に教えてください.

【条件節内 (conditional)】

jae hiju?-re udub-a-p-me.

anyone come-LOC inform-BEN-1SG.OBJ-2SG.IMP

「誰かが来たら, 私に知らせて下さい」

9-18 今日は誰も来るとは思わない. /今日は誰も来ないと思う.

【間接(全部)否定 (INDirect negation)】

tisiŋ do jae hijug-a men-e-a do ka-p uŋu?-ta-n-a.

today TOP anyone come-IND say-E-IND TOP NEG-1SG.SBJ think-PROG-INTR-IND

「今日は誰かがくるということはわたしは思っていない」

tisiŋ do jeta-o ka-ko hijug-a mente=ŋ uŋu?-ta-n-a.

today TOP anyone-too NEG-3PL.SBJ come-IND because=1SG.SBJ think-PROG-INTR-IND

「今日は誰もこないとわたしは思っている」

9-19 そこには今誰もいないよ.

【直接(全部)否定 (direct negation)】

en-re naa? do jeta-e ka-ko tain-ta-n-a.
 that-LOC now TOP anyone NEG-3PL.SBJ live-PROG-INTR-IND
 「そこに今は誰も住んでいない」

9-20 (それは) **誰でも**できる.

【自由選択 (free-choice)】

ena do jae ge=ko daji-a.
 that TOP anyone EMPH=3PL.SBJ be. able-IND
 「それは誰でもできる」

9-21 そんなこと (は), **みんな**知っているんじゃないか!?

【自由選択を示す「みんな」】

ena do soben=ko itu-a-n-a jaa?.
 that TOP all=3PL.SBJ know-CIS-INTR-IND perhaps
 「それはみんながたぶん知っているだろう」

9-22 そんなもの, **誰が**買うんだよ!? 誰も買うわけじゃないか!

【反語】

ena do okoe kirinj-a. jeta-e-o ka-ko kirinj-a.
 that TOP who buy-IND. anyone-E-too NEG-3PL.SBJ buy-IND
 「それは誰が買う。誰も買わない」

9-23 君は英語がうまいね.

【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り内】

am do diku jagar maja=m jagar-e-a.
 2SG TOP HINDi talk good=2SG.SBJ talk-E-IND
 「君はヒンディー語をうまくしゃべる」

9-24 君は退屈そうだね.

【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り内】

am do=m dub-hape¹⁷-aka-n-a.
 2SG TOP=2SG.SBJ sit-silent-CONT-INTR-IND
 「君は静かに座っている」

9-25 明日も寒いらしいよ.

【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り外】

gapa-o rabaŋ-ge-a jaa?.
 tomorrow-too cold-EMPH-IND perhaps
 「明日もたぶん寒い」

¹⁷ 「退屈」を表す表現がないので, dub-hape 「座って黙っている」と表現した.

10. 「否定, 形容詞と連体修飾複文」(語学研究所論集 第23号)

10-1 これは私の本ではない.

[名詞述語文/コピュラ文の否定]

nea do aŋ-a? kitab ka-ta-n-a.

this TOP 1SG-GEN book NEG-PROG-INTR-IND

「これは私の本ではない」

10-2 この部屋には椅子がない.

[存在文の否定]

ne oŋa?-re kursi bano?¹⁸.

this house-LOC chair COP.NEG

「この家(部屋)には椅子がない」

10-3 この部屋には一つも椅子がない.

[全部否定・モノ]

ne oŋa?-re moyod-o kursi bano?.

this house-LOC one-too chair COP.NEG

「この家(部屋)には一つも椅子がない」

10-4 その部屋には誰もいない.

[全部否定・ヒト]

ne oŋa?-re jeta-o baŋ-ko-a¹⁹.

this house-LOC anyone-too COP.NEG-3PL-IND

「この家(部屋)には誰もいない」

10-5 その本はこの部屋にない.

[所在文の否定]

en kitab do ne oŋa?-re bano?.

that book TOP this house-LOC COP.NEG

「その本はこの家(部屋)にない」

10-6 この犬は大きくない.

[形容詞文の否定]

ne seta do maraŋ baŋgai?-i-a.

this dog TOP big COP.NEG

「この犬は大きくない」

¹⁸ mena? が存在のコピュラなのに対して, bano? がその否定形である.

¹⁹ 無生名詞では bano? だが, 有生名詞では人称が標示されて baŋ-ko-a となる.

ムンダ語は形容詞と動詞の区別がつきにくく²⁰、次の文だと「大きくなる=成長しない」の意味になる。

ne seta do ka-e maraŋ-a.
 this dog TOP NEG-3SG.SBJ grow-IND
 「この犬は成長しない」

10-7 この犬はあまり大きくない。

[形容詞文の部分否定]

ne seta do imunun ma<pa>raŋ baŋgai?-i-a.
 this dog TOP that.much very.big COP.NEG
 「この犬はそれほど大きくはない」

この接中辞-pV-(V=Vowel)は動詞につくと、相互動詞語幹を形成するが形容詞がこの接中辞をとると「とても～」の意味を持つ²¹。

10-8 この犬はあの犬より大きい。

[比較級]

ne seta do en seta-ate maraŋ-ge-a.
 this dog TOP that dog-ABL big-EMPH-IND
 「この犬はその犬より大きい」

10-9 この犬がその犬たちの中で一番大きい。

[最上級]

ne seta do seta-ko-tala-re maraŋ-utar²²-ge-a.
 this dog TOP dog-PL-among-LOC very.big-completely-EMPH-IND
 「この犬は犬たちの中で一番大きい」

10-10 今日はあの人は来ない。

[自動詞文の否定]

tisiŋ do en hoŋo do ka-e hiju?-a.
 today TOP that person TOP NEG-3SG.SBJ come-IND
 「今日はその人は来ない」

10-11 あ的那个人はその本を持って行かなかった。

[他動詞文の否定]

en hoŋo do en kitab ka-e idi-ke-d-a.
 that person TOP that book NEG-3SG.SBJ bring-COPL-TR-IND
 「その人はその本を持って行かなかった」

²⁰ この点については、Evans and Osada (2007)を参照せよ。

²¹ Osada (2008)では、その接中辞の意味の相違を形容詞と動詞の区別としている。

²² ムンダ語には動詞の後に来る強調辞(単独では動詞にならない)があり、その-utar- で一番大きいを示す。

10-12 全ての学生が参加しなかった. / 学生は全員参加しなかった.

[数量の全部否定]

student-ko jetae-o ka-ko hiju?-le-n-a.

student-PL anyone-too NEG-3PL.SBJ come-ANT-INTR-IND

「学生たちは誰も来なかった」

10-13 全ての学生が参加したわけではない.

[数量の部分否定]

soben student do ka-ko hiju?-le-n-a.

all student-PL TOP NEG-3PL.SBJ come-ANT-INTR-IND

「すべての学生たちが来たわけではない」

10-14 (私は買わなかった. しかし, 決して) 値段が高いというわけではない.

[文の否定]

gonon-ge-a men-e-a do ka.

expensive-EMPH-IND say-E-IND TOP NEG

「値段が高いというわけではない」

10-15 走るな!

[禁止]

alo-m nir-e-a.

PROH-2SG run-IND

「走るな」

禁止は文頭に alo-と二人称による形式を置く.

10-16 大きな声を出すな!

[他動詞文の禁止]

alo-pe kakala-i-a.

PROH-2PL shout-E-IND

「お前たち叫ぶな」²³

10-17 明日は雨は降らないだろう.

[推量の否定]

gapa do ka-e gama-i-a²⁴.

tomorrow TOP NEG-3SG rain-E-IND

「明日は雨は降らないだろう」

²³ 声を潜めてしゃべる人が少なく, 普通に大きな声を出している人には「叫ぶな」というしかない. 「大きな声を出すな」というのは日本の文化であるのかもしれない.

²⁴ gama 「雨が降る」は必ず有生名詞単数を主語として人称標示する.

10-18 あの人の聞こえないように、小さな声で話してくれ。

[目的節の否定]

en hoꞞo alo-ka-e ayum-e ka mente hayam-hayam jagar-e-me.
that person OPT-NEG-3SG hear OPT QUOT murmur talk-E-2SG.IMP

「その人が聞かないようにと、ひそひそと話せ」

ka が希求法をあらわし、その否定が冒頭に alo-ka-をつける。

10-19 私はあなたを怒らせようと思ってそう言ったんじゃない。

[否定のスキープの調節]

am kis-rika nanɣen do ka-n kaji-a-m-ta-n-a.
2SG angry-cause for TOP NEG-1SG.SBJ tell-BEN-2SG-PROG-INTR-IND

「あなたを怒らせるために、わたしはあなたに言ったんじゃない」

10-20 私が昨日買ってきた本はどこ（にある）？

[内の関係の連体修飾節・目的語]

ap hola kirin-ke-d-kitab kota-re mena?.
1SG yesterday buy-COMPL-TR-book where-LOC COP

「私が昨日買ってきた本はどこにあるのか」

10-21 その本を持って来た人は誰（か）？

[内の関係の連体修飾節・主語]

en kitab au-ke-d-hoꞞo okoe tan²⁵-i?.
that book bring-COMPL-TR-person who COP-3SG.SBJ

「その本を持って来た人は誰か」

10-22 この部屋が私たちの仕事をしている部屋です。

[内の関係の連体修飾節・場所]

ne oꞞa? ge ale-a? kami-ta-n-oꞞa? do.
this house EMPH 1PL.EXCL-GEN work-PROG-INTR-house TOP

ne oꞞa? do ale-a? kami-oꞞa? ge.
this house TOP 1PL.EXCL-GEN work-house EMPH

「この家が私たち（除外）の仕事をしている家です。」

10-23 足が一本折れたあの椅子はもう捨ててしまった。

[内の関係の連体修飾節・所有者]

kursi-ra? kaꞞa bagaꞞao-aka-n-kursi=ɲ giꞞi-ke-d-a.
chair-GEN leg broken-CONT-INTR-chair=1SG.SBJ throwaway-COMPL-TR-IND

「足が壊れている椅子を私は捨てた。」

²⁵ tan は identity copula を示す。ムンダ語には existential copula/ identity copula の区別がある。

10-24 ドアを叩いている音が聞こえる.

[外の関係の連体修飾節]

duar [oko-ʔoko-ta-n-saʔi ayum-oʔ-ta-n-a.
door EXP-PROG-INTR-sound hear-PASS-PROG-INTR-IND
「ドアをトントンと叩く音が聞こえている。」

10-25 あの人が結婚したという噂は本当(か)?

[外の関係の連体修飾節]

en hoʔo aʔandi-ja-n-a men-e-a sarte ge ci.
that person merry-INGR-INTR-IND say-E-IND real EMPH Q
「あの人が結婚したというのは本当なのか」

10-26 私はその人が来た時にご飯を食べていた.

[時間節]

aʔ do en hoʔo hijuʔ-le-n-dipili maŋdi=ʃn jom-ta-n-taiken-a.
1SG TOP that person come-ANT-INTR-time rice=1SG.SBJ eat-PROG-INTR-COP.PAST-IND
「私はその人が来たときにご飯を食べているところでした」

10-27 私はその人が待っている所に行った.

[場所節]

aʔ do en hoʔo taŋgi-ja-ʔ-n-jaga-te=ʃn sen-ke-n-a.
1SG TOP that person wait-INGR-TR-place-to=1SG.SBJ go-COMPL-INTR-IND
「私はその人が待っている場所に行った。」

10-28 私はその人が走っていったのを見た.

[補文節・視覚]

aʔ do en hoʔo nir-ja-n-a. ena ge=ʃn lel-li-ʔ-i-a.
1SG TOP that person run-INGR-INTR-IND that EMPH=1SG.SBJ see-ANT-TR-3SG.OBJ-IND
「私はその人が走って行った, それを私は見た。」

10-29 昨日の夜, 私は彼らがしゃべっているのを聞いた.

[補文節・聴覚]

hola nida aʔ do in-ku jagar-ta-n-taiken-a.
yesterday night 1SG TOP that-PL talk-PROG-INTR-COP.PAST-IND
ena ge=ʃn ayum-la-ʔ-a.
that EMPH=1SG.SBJ hear-ANT-TR-IND
「昨日の夜, 私は彼らがしゃべっていた, それを私は聞いた」

10-30 私はその人が昨日ここに来たことを知っている.

[補文節・知識]

aʔ do en hoʔo hola nere hijuʔ-le-n-a men-e-a=ʃn itu-a-n-a
1SG TOP that person yesterday here come-ANT-INTR-IND say-E-IND=1SG.SBJ know-CIS-INTR-IND

(CIS=cislocative)

「私はその人が昨日ここに来たということを知っている」

10-31 (昨日) 彼は彼が今日ここに来たと言った. / (昨日) 彼は, 「私は今日ここに来た」と言った.

[補文節・直接発話/間接話法]

hola ini? do tisiŋ nere=ŋ hiju?-ta-n-a mente=? kaji-la-?-a.
yesterday3SG TOP today here=1SG.SBJ come-ANT-INTR-IND QUO=3SG.SBJ say-ANT-TR-IND

「昨日, 彼は『私が今日ここに来た』と言った」

10-32 私はリンゴが(あの)皿の上にあったのを食べた.

[内在節・従主・主主]

aŋ do uli en taŋi cetan-re taiken-a ena ge=ŋ jom-ke-d-a.
1SGTOP mango that dish on-LOC COP.PAST-IND that EMPH=1SG.SBJ eat-COMPL-TR-IND

「私はマンゴーがあの皿の上にあった, それを私は食べた」

10-33 私はネコが家に入ってきたのを捕まえた.

[内在節・従主・主目]

aŋ do pusi oŋa?-te bolo-ja-n-a ena-te=ŋ sab-ki-?-i-a
1SGTOP cat house-to enter-ANT-INTR-IND that-INS=1SG.SBJ catch-COMPL-TR-3SG.OBJ-IND

「私はネコが家に入ってきたので, 私は捕まえた」

なお, グロスについては Leipzig glossing rules に準拠した. ただし, ムンダ語だけで使用するものは随時本文中に示した.

参考文献

- Evans, N. and T.Osada (2005) Mundari: The myth of a language without word classes, *Linguistic Typology*9: 351-390.
- Munda, R.D. (1971). Aspects of Mundari verb, *Indian Linguistics*. 32: 27-49.
- Osada, T. (1999) Experiential constructions in Mundari, 『言語研究』 115: 51-76.
- Osada, T. (2007) Reciprocals in Mundari, Vladimir Nedjalkov (ed) *Typology of the reciprocal constructions*, John Benjamin.
- Osada, T. (2008) Mundari, Gregory Anderson (ed) *The Munda Languages*, 99-164. Routledge.
- 長田俊樹・Madhu PURTI (2022) 『夏期言語研修 ムンダ語教本』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 長田俊樹・N. バデノック (編) (2019) 『ムンダ語擬態語擬音語辞典』アジア・アフリカ基礎語彙集シリーズ 60. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

執筆者連絡先 : osada-t@mub.biglobe.ne.jp; purtimadhu@gmail.com; Takahashi.tsubasa.u0@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2024年1月11日